第二十條　局所長ハ別ニ定ムル樣式ニ從ヒ官舍臺帳ヲ調製シ官舍ノ居住退去ヲ明ニスヘシ

第二十一條　官舍ニ居住スル者變更アル場合ニ居住セル者ノ員數ニ異動ヲ及ホストキハ別ニ定ムル樣式ニ從ヒ官房祕書課長ニ報告スヘシ

第三章　居住者心得

第二十二條　官舍居住者ハ居住退去トモ必ス保管主任ニ申出テ其ノ承認ヲ受クヘシ

保管主任ノ承認ヲ得サル間ハ其ノ官舍ニ係ル責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十三條　外部雨漏等ノ修繕ヲ要スルモノアルトキハ保管主任ニ申出ツヘシ

第二十四條　鐵道院附屬官舍貸渡規程第一條ノ居住者ハ居住退去トモ其ノ達ヲ受ケタル日ヨリ五日以內タルヘシ

官舍ノ貸付ヲ受ケタル者退去ノ場合ハ前項ニ準ス

第二十五條　前條居住者ハ上官ノ認可ヲ得ルニアラサレハ八時間以上引續キ外出シ又ハ他ニ宿泊スルコトヲ得ス又外出スルトキハ必ス其出先ヲ明ニシ置クヘシ

第二十六條　鐵道院附屬官舍貸渡規程第一條ノ居住者轉職休職免官解雇解職ノトキハ十日以內ニ其ノ官舍ヲ退去スヘシ

第二十七條　官舍居住ノ命令ヲ受ケタル者及官舍ヲ退去スヘキ者規定ノ日限內ニ居住又ハ退去シ能ハサルトキハ該日限迄ニ其ノ事由ヲ詳記シタル願書ヲ局所長ニ提出スヘシ

第二十八條　前條ノ事由カ正當ナルトキハ局所長ハ之ニ承認ヲ與フヘシ

附　則

第二十九條　從前合宿所ニ充テラレタル官舍ハ此際別ニ手續ヲ要セス當然甲號又ハ乙號ノ合宿所ニ充ツ

第三十條　局所長ハ遲滯ナク本規程ニ基キ官舍ヲ整理シ官舍ニ居住スル者ノ職名及員數ヲ別ニ定ムル樣式ニ依リ官房祕書課長ニ報告スヘシ

官舍取扱規程第二十一條ニ依ル樣式

官舍居住者異動報告

何々管理局(所)

指定居住者		貸付居住者		備考
合宿所居住者				
職名	助事何計	職名	助出札何計	新居住者ノ數ヲ朱書シ左方ノ欄ニハ赤書ス
何々	役掌々	何々	役掛々	職名ノ下向ヲ朱書シ右方ノ欄ニハ墨書スヘシ
	二三 五四		三二 二一	
	六五 五六			

官舍取扱規程第三十條ニ依ル樣式

官舍居住者整理報告

何々管理局(所)

指定居住者		貸付居住者		備考
官舍合宿所居住者				
職名	何計	職名	何計	本局所所屬員ニ對スル分ハ別表トナスコトヲ得
何々	々	何々	々	

官舍取扱規程第二十條ニ依ル樣式

停車場構內第　號官舍	
建坪	坪
宿代	円
記事	

官職名								
氏名								
入	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
退	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

官職名									
氏名									
入	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
退	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

帝國鐵道廳

官職名									
氏名									
入	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
退	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

官職名							
氏名							
入	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
退	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

備考

一、入退年月日ハ命令又ハ轉職其他入退スヘキ事項ノ生シタル日付ヲ記入ノコト

一、宿代ハ記入セサルモ妨ナシ

一、官舍取扱規程第二十八條ノ場合ハ其旨ヲ記事欄ニ記入整理スヘシ

〇官舍貸渡規程、官舍取扱規程ニ依ル借用證、官舍及附屬建造物明細簿竝ニ官舍及附屬物件明細簿樣式（明治四十二年六月二十二日達第五三九號）

官舍借用證（本證書ト明細書ト割印ヲ爲サシムヘシ）

官舍居住被命候ニ付テハ別紙明細書ノ通官舍竝附屬建造物及物品全部無料ニテ借用仕候仍テ明治四十一年十二月達第二八號鐵道院附屬官舍貸渡規程第五條竝同年同月達第二十九號官舍取扱規程第三章居住者心得承諾ノ上借用證差出候也

年　月　日　　官　職　氏　名　印

鐵道院總裁殿

官舍借用證（本證書ト明細書ト割印ヲ爲サシムヘシ）

（印）印紙貼用

別紙明細書ノ官舍竝附屬建造物及物品全部ヲ同書記載ノ宿代ニテ借用仕候仍テ明治九年五月太政官達第五十三號官舍貸渡規則及明治四十一年十二月達第二十九號官舍取扱規程第三章居住者心得承諾ノ上借用證差出候也

年　月　日　　官　職　氏　名　印

鐵道院總裁殿

官舍及附屬建造物明細簿　備考　一號戸欄ハ一棟ヲ以テ一號トシ一居住ヲ以テ一戸トス
一記事欄ニハ增築、改築及大修繕等ヲ記入スルモノトス

（表）

所在地	號	戸	本家建坪（坪）	構造	圖面番號	類別	附屬建造物 種類	構造	單位稱呼	數	種類	構造	單位稱呼	數	記事

（裏）

建設又ハ評價年月	建設又ハ評價金額	宿代 定額	宿代 月額	記事	建設又ハ評價年月	建設又ハ評價金額	宿代 定額	宿代 月額	記事
	円	円	円			円	円	円	

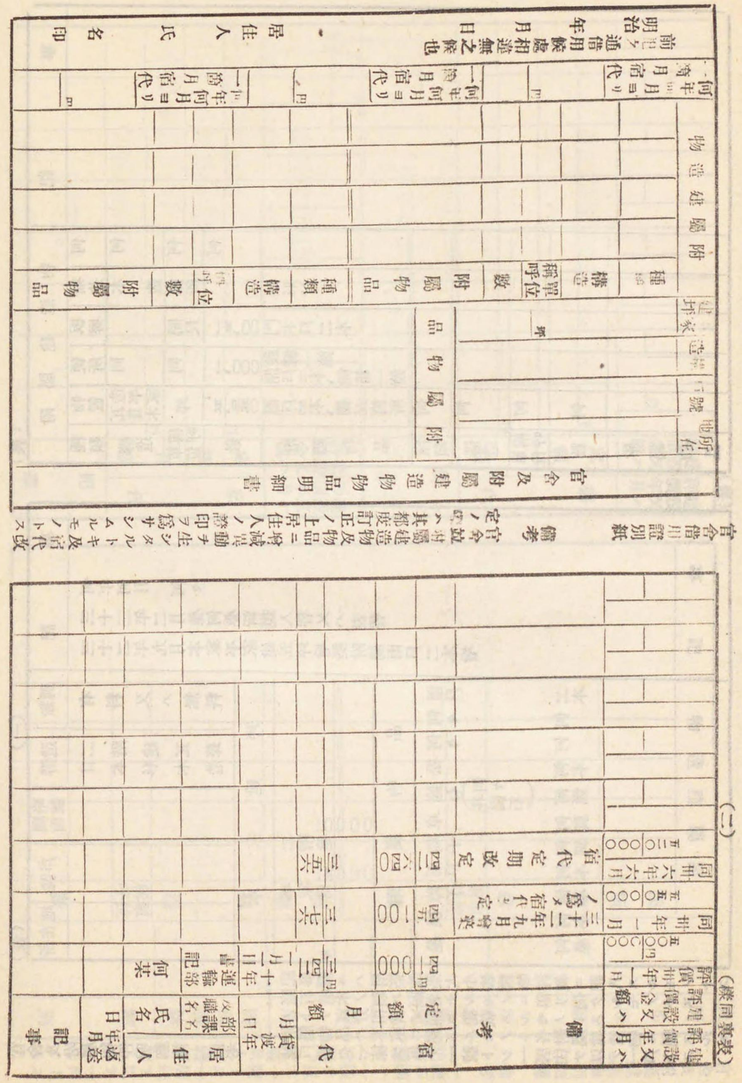
官舍及附屬物件明細簿　備考　一號戸欄ハ一棟ヲ以テ一號トシ一居住ヲ以テ一戸トス
一附屬物品ハ本家ニ屬スルモノト各附屬建造物ニ屬スルモノトヲ區分相當ノ欄ニ記載スルモノトス
一庭石植木ノ類ハ顯著ナルモノニ限リ揭クルモノトス
一記事欄ニハ增築改築大小修繕等詳細ニ記入スルモノトス

（表）（一）

所在地	號戸	圖面略號	構造	類別	本家建坪（坪）	附屬物品		記事
			日本形木造二階建瓦葺	有料又ハ無料	平家建 一五〇〇〇	疊	何疊	三十二年九月本家平家建五坪增築附屬雨戸二本增
					二階建 一〇〇〇〇	襖	何本	三十三年二月疊何疊新規入替又ハ表替
						障子	何本	何年何月　何々
						雨戸	何本	
						椅子	何脚	
						卓	何脚	
						庭石（花崗石）	何箇	
						松	何本	
						何々	何	
						何々	何	
						雨戸	二本	

（裏）

附屬建造物 種類	構造	單位稱呼	數	附屬物品	種類	構造	單位稱呼	數	附屬物品	記事
物置	瓦葺木造平家	坪	五、三五〇	雨戸二本、棚五箇所	何	何	何	何		
便所	同	同	一、〇〇〇	開戸二本、樋箱一箇 鮫鱇一箇						
板塀		間尺	一五、〇〇	門木戸二本						
堀井	木造	箇所	一	屋形付						
何	何	何	何							



○鐵道院附屬官舍稱號一定ノ件

明治四十二年七月二十四日
官祕第七六七號通牒

本院附屬官舍ノ稱號ハ甚タ區々ニ渉リ居不便不尠候條六月二十二日付達第五三九號ニ基キ追々官舍及附屬建造物明細簿等整理セラルルニ際シ其稱號ヲ左記形式ノ番號順ニ一定相成度

記

一　壹戸建ノモノニ對シテハ「號」
一　棟續キノモノニ對シテハ「號、戸」
例（一戸建及三戸建ノ貳棟アル場合）
第壹號　（壹戸建）
第貳號一戸　（三戸建）
同　二戸
同　三戸

○官設鐵道職員宿舍料支給制

明治三十九年十月二十六日
勅令第二九四號

官設鐵道ノ運輸又ハ保線ノ業務ニ從事スル職員ニシテ官舍ニ居住セシムヘキモノニハ相當ノ官舍無キ場合ニ限リ宿舍料ヲ支給スルコトヲ得
前項宿舍料ノ額及其ノ支給方法ハ遞信大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

○各種會議、事務打合及其他ノ爲メ集會所設置ニ關スル件

明治四十四年三月三十日
達第二二七號

各種ノ會議、事務打合及職員竝其家族ノ修養訓練ノ目的ヲ以テスル講話會研究會等ノ席場ニ供スルカ爲メ局所所在地其他主要ノ場所ニ集會所ヲ設置スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ設計豫算其他參考ト爲ルヘキ事項ヲ具シ其都度認可ヲ請フヘシ

○國有鐵道線路名稱

明治四十二年十月十二日鐵道院告示第五四號

國有鐵道線路名稱左ノ通定ム

名稱	區間
本州	
東海道本線	新橋神戸間濱松町吳服橋間神奈川橫濱程ケ谷間及貨物支線（東神奈川八王子間）
橫濱線	（及貨物支線借入線）
橫須賀線	（大船橫須賀間）
東海道線武豐線	（大府武豐間）
大津線	（馬場大津間）
西成線	（大阪櫻島間）
福知山線	（神崎福知山間及塚口尼ケ崎間）
北陸本線	（米原泊間及貨物支線）
三國線	（金津三國間）
七尾線	（津幡矢田新間）
本州	
中央本線	（萬世橋名古屋間）
篠ノ井線	（鹽尻篠ノ井間）
山陽本線	（神戸下關間兵庫和田岬間及貨物支線）
播但線	（飾磨和田山間）
宇野線	（岡山宇野間）
吳線	（海田市吳間）
宇品線	（廣島宇品間）
大嶺線	（厚狹大嶺間）

改正

（四十二年十一月告示第六五號、第七三號、第七四號、十二月第八五號、第八八號、四十三年一月第一號、三月第一〇號、四月第二七號、第三二號、六月第四七號、第五二號、第六一號、八月第七四號、九月第七九號、第八二號、十月第八八號、第九一號、第九八號、十一月第一〇六號、第一一〇號、十二月第一一六號、第一一九號、四十四年三月第一〇號、第一一七號、五月第三六號、六月第四七號、七月第五〇號、第五二號、九月第六四號、第七〇號、第七四號、十月第八〇號、第八二號、第八四號、第八八號、第九一號、第九六號、十一月第一〇一號、十二月第一〇六號、四十五年三月第七號、二月第一一號、三月第一八號、第二五號、第二八號、五月第四八號、七月第五七號）

名稱	區間
本州	
山陰本線	（京都出雲今市間）
舞鶴線	（綾部新舞鶴間及舞鶴海舞鶴間）
山陰線	
倉吉輕便線	（上井倉吉間）
境線	（米子境間）
大社線	（出雲今市大社間）
關西本線	（名古屋木津奈良湊町間）
參宮線	（龜山鳥羽間）
草津線	（柘植草津間）
奈良線	（木津京都間）
關西線	
櫻ノ宮線	（木津網島櫻ノ宮間）
櫻井線	（奈良高田間）
片町線	（片町放出間）
和歌山線	（王寺和歌山市間及貨物支線）
城東線	（天王寺大阪間）
東北線	
東北本線	（上野青森間及貨物支線）
山手線	（赤羽品川間池袋田端間及大崎大井間）
常磐線	（日暮里岩沼間田端三河島間及貨物支線）
高崎線	（大宮高崎間）
本州	
兩毛線	（小山高崎間）
水戸線	（小山友部間）
眞岡輕便線	（下館眞岡間）
日光線	（宇都宮日光間）
東北線	
岩越線	（郡山山都間）
鹽竈線	（岩切鹽竈間）
八ノ戸線	（尻內湊間）
奧羽本線	（福島青森間及貨物支線）
能代線	（機織能代間）
信越線	（高崎新潟間直江津名立間及新津馬下間）
總武本線	（兩國橋銚子間及貨物支線）
房總線	（千葉大原間）
木更津線	（蘇我姉ケ崎間）
東金線	（大網成東間）
四國	
讃岐線	（高松琴平間）
德島線	（德島船戸間）

九州		
名稱	區間	
鹿兒島線	鹿兒島本線（門司鹿兒島間及貨物支線）	
	小倉裏線（平時運轉休止）	
	室木線（遠賀川室木間）	
	篠栗線（吉塚篠栗間）	
	三角線（宇土三角間）	
長崎線	長崎本線（鳥栖長崎間）	
	唐津線（久保田西唐津間及貨物支線）	
	伊萬里線（有田伊萬里間）	
	佐世保線（早岐佐世保間）	
豐州線	豐州本線（小倉大分間）	
	田川線（行橋添田間及貨物支線）	
	宮床線（後藤寺宮床間及貨物支線）	
筑豐線	筑豐本線（若松上山田間及貨物支線）	
	香月線（中間香月間）	
	伊田線（直方伊田間及貨物支線）	
	桐野線（勝野桐野間及貨物支線）	
	幸袋線（小竹幸袋間及貨物支線）	
	長尾線（飯塚長尾間及貨物支線）	

北海道		
名稱	區間	
函館線	函館本線（函館旭川間）	
	幌內線（岩見澤幌內間及幌內太幾春別間）	
	歌志內線（砂川歌志內間）	
	手宮線（小樽手宮間）	
室蘭線	室蘭本線（岩見澤室蘭間）	
	夕張線（追分夕張間及紅葉山楓間）	
留萌線	深川留萌間	
釧路線	旭川釧路間	
天鹽線	旭川恩根內間	
網走線	池田野付牛間	

○鐵道院年報編纂手續

明治四十二年五月二十日　達第四一三號　改正　四十三年四月　達第二九一號

一、鐵道院年報ハ左ノ二種ニ分割調製スヘシ

(1) 國有鐵道ニ關スルモノ

(2) 私設鐵道、軌道及南滿洲鐵道ニ關スルモノ

二、國有鐵道年報ハ本州、四國、九州及北海道ノ線別ヲ廢止シ管理局及出張所別ニ區分スヘシ

但四十一年度分ニ限リ本項ニ據リ難キモノハ線別ニ整理スルコトヲ得

三、建設部及各課ハ管理局、出張所、建設事務所及建築事務所ヨリ提出ニ係ル年報材料ヲ審査集計シ總說及一事項毎ニ事業ノ概況ヲ敍述シ官房文書課ヘ送付スヘシ

四、監理部ハ私設鐵道、軌道及南滿洲鐵道ニ關スル年報材料ヲ集輯シ各項ニ概況ヲ記述シ官房文書課ヘ送付スヘシ

五、官房文書課ハ總テノ年報材料ヲ綜合シ且ツ總裁名概說（全國鐵道竝國有鐵道ニ關スル）ヲ作成シ編纂ノ手續ヲナスヘシ

○鐵道院鐵道統計報告例

明治四十二年五月十七日　達第四〇四號

改正　四十二年十二月達第一〇九一號、四十三年三月達第一六二號、四月達第二九一號、十二月達第一〇二二號、十二月達第一〇四六號、四十四年九月達第七二八號

鐵道統計ニ關スル報告例左ノ通改定ス

第一條　鐵道統計報告例ニ關スル報告ハ別ニ定ムルモノノ外本例ニ依リ報告スヘシ

第二條　官房、部、課、試驗所、管理局、出張所、建設事務所、建築事務所ハ各其ノ主管ノ事項ニ對シ別記樣式ニ準據シテ鐵道統計ヲ調製スヘシ

第三條　鐵道統計ハ別記各號ニ記載スル期限內ニ提出スヘシ

第四條　官房、部、課、試驗所、管理局、出張所、建設事務所、建築事務所ハ鐵道統計報告主任者ヲ定メ其ノ官氏名ヲ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

附　則

第五條　從來ノ令達ニシテ本例ニ牴觸スルモノハ總テ之ヲ廢止ス

第六條　本例發布以前ニ係ル統計ニシテ報告未濟ノモノハ本例ニ依リ提出スヘシ

樣式目錄

第一號　國有鐵道收入概算表
第二號　車輛月報
第三號　國有鐵道運輸月表
第四號　車軸發熱輛數表
第五號　工場死傷調查票
第六號　運輸月報
第七號　鐵道一覽表
第八號　機關車一覽表
第九號　客車一覽表
第十號　貨車一覽表
第十一號　職名別表
第十二號　職員表（甲、乙）
第十三號　石炭消費高表
第十四號　國有鐵道災害調表
第十五號　職員公務上死傷者表
第十六號　鐵道哩程停車場數區間別表
第十七號　鐵道未成線區間別表
第十八號　鐵道院年報材料
第十九號　統計月報
第二十號　工場票
第二十一號　鐵道事故類別表
第二十二號　鐵道法令違犯者表

以　上

國有鐵道收入概算表

明治何年何月分又ハ上、中、下旬分　　翌旬、翌月十日限提出

第一號　　調査課

局所別	線路別	平均營業哩程 本年度	平均營業哩程 前年度比較增減	旅客人員 本年度	旅客人員 前年度比較增減	貨物噸數 本年度	貨物噸數 前年度比較增減	旅客收入 本年度	旅客收入 前年度比較增減	貨物收入 本年度	貨物收入 前年度比較增減	收入合計 本年度	收入合計 前年度比較增減
		哩	哩	人	人	噸	噸	円	円	円	円	円	円
何々管理局	何々線												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
計													
何々出張所	何々線												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
〃	〃												
計													
總計													

車輛月報

明治何年何月分　　翌月十五日限提出

第二號　　運轉課

局所別	線路別	機關車					客車						貨車						私有車		
		營業用	工事用	予備	運轉中	計	營業用	修繕中	予備	運轉中	計	營業用	工事用	修繕中	予備	運轉中	計	營業用	修繕中	計
		輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛
何々管理局	何々線																			
〃	〃																			
〃	〃																			
計																				
何々出張所	何々線																			
〃	〃																			
計																				
總計																				

國有鐵道運輸月表

調　査　課

第三號

明治何年何月分　　翌月十五日限提出

局所別	線路別	營業哩數 哩	車輛 車數	車輛 車軸	客車	貨車	車輛 車軸	旅客人員 人	貨物噸數 噸	運輸收入 旅客收入 円	運輸收入 貨物收入 円	運輸收入 計 円	一日一哩平均運輸收入 円
何々管理局	何々線												
〃	〃												
〃	〃												
〃	計												
何々出張所	何々線												
〃	〃												
〃	〃												
〃	計												
工事專用													
會社線運轉中													
〃													
〃													
總計													

第四號　車軸發熱輛數表

管理局、出張所　翌月十五日限提出

明治　年　月分　日調査

線路別	何々線	何々線	何々線	何々線	何々線	計	備考
客車							
貨車							
計							
客車ノ百分率							
貨車ノ百分率							
計							

（タルモノ及ホシ）
（ナルモノ及ホサ）

前月末現在							
本月増減							
翌月繰越							

第五號

管理局、出張所　翌月十五日限提出

明治　年　月　日調査

一箇月毎ニ調査

線路別	何々線	何々線	何々線	何々線	何々線	計	備考
客車							
貨車							
計							

第　號

工場名	所在地

職工總數	男	
	女	
	計	

工業ノ種類	原動力	

事故

死傷

死傷ノ種別	部位ノ位	症狀	經過	死傷ノ種類	死傷ノ原因
死亡		衆ニ傷ヲ負ヒシモノ又ハ衆ト雖モ死ニ至ラシメサリシモノ			
負傷					

年齢	身分	死傷者ノ救護

事故

原因	事故ノ種類	事故ノ概況

◎注意

一、本票ハ作ルヘシ

二、死傷者毎一人ニ付一票ヲ作ルヘシ

三、崩壊破裂又ハ火災ヲ生シタル場合ニハ別ニ災害報告書ヲ作ルヘシ

四、建物汽罐其他工場所属ノ物件ニ異狀アリタル場合ニハ別ニ災害報告書ヲ作ルヘシ

工場死傷調査票記入心得

一本票ハ死傷者一人ニ付キ一葉ヲ限リ調製スルコト

一第　號　番號記入ヲ要セス

一工　場　名　分工場ナルトキハ其所屬工場名ヲ併記スルコト

一年　齡　滿ヲ以テ計算セサルコト

一身　分　職工、徒弟(見習)傭人、技術者其他ニ區別スルコト

一負傷ノ部位　右眼球、左大腿、膝關節等ノ類

一症　狀　異物、切創、脫臼等ノ類

一經　過　何日間ニテ全治、又死亡ノ場合ニハ即死若シクハ負傷後何日間ヲ經テ死亡ノ類但本票調製ノ時迄ニ全治セサル者ニ就テハ「今後何日間ニテ全治ノ見込」ノ如ク本票調製當時ノ見込ヲ記入スルコト續發症ニヨリ死亡シタル時ハ病名ヲ附記スルコト

一死傷ノ日時及晝夜　何月何日午前何時　晝又ハ夜
但負傷後死亡ノ場合ニハ負傷ノ月日時ヲ記入スルコト

一事　故　就業中齒輪ニ觸レタル爲メ又ハ鑿ノ破片飛散セシ爲メ等ノ類

一死傷ノ原因　天災、遇然ノ出來事、建設物及汽罐、汽機機械、器具ノ構造設備又ハ管理ノ缺點、自己ノ過失又ハ懈怠、他人ノ過失又ハ懈怠、自己ノ故意、他人ノ故意、不詳ニ區別スルコト

一死傷ハ作業ニ關スルヤ否　自身作業中其作業ノ爲メニ死傷シタル時ハ「作業ニ關ス」ト記入シ他ノ動作ニ因リテ死傷シタル場合ニハ「作業ニ關セス」ト記入スルコト

一死傷者ノ救護　應急手當ノ狀況、官費治療(救濟組合出費ノ治療ヲ含ム)日給金額(又ハ何分ノ一)給與救濟金何圓、弔祭料何圓、扶助料何圓贈與等救護ノ顚末ヲ記入スルコト

工場死傷調査票附帶災害調査票列記事項

一　工場ノ名稱

二　工業ノ種類

三　災害其他ノ事故ノ生シタル日時、場所、其原因及狀況

四　死傷者アリタルトキハ其數、男女別、年齡及職名

五　死亡者アリタルトキハ其致死ノ原因、負傷者アリタルトキハ其負傷ノ部位、症狀經過等及救護ノ顚末

六　死傷者被害ノ原因場所、其當時從事シタル仕事ノ種類及取扱タル機械器具ノ種類又ハ部分

第六號　管理局、出張所　翌月末日限提出

運　輸　月　報

明治四十年四月二十九日鐵運乙第二〇四號運輸月報調製手續ニ依リ調製スヘシ
但同手續第一條第十、第十二、第十三、第十四項ニ關スル事項ハ揭載ヲ要セス

表　覽　一　道　鐵

調日末月二十年何治明

注意　軌間二呎六吋ノ鐵道ニ在リテハ線路ノ單複ノ區畫ニ「標便單(複)線」ト記入スヘシ

名　停車場	測實	程哩	業營哩	單複ノ線路	備　考
	場間	點起	點起		二、通信ノ設備ノ區畫中信ト記スルハ電信機アルヲ示シ話ト記スルハ電話機アルヲ示ス
	兩停車	點起	點起		一、積卸ニノミ使用スル停車場ヲタルヲ示ス
	哩	哩	哩		停車場名ノ左肩ニ※ヲ付スルハ機關車アルヲ示シ又停車場名ノ傍ニ(貨)ト記スルハ單ニ貨物
	哩鎖	哩	哩		
※神戸 Kobe	0.00		0		轉區域 神戸兵庫間
※兵庫 Hyogo	1.10	0.00	0	複線	機關車運 神戸兵庫間
須磨 Suma	3.35	0.10	1		轉區域 姫路岡山間
鹽屋 Shioya	1.65	4.45	4½		機關車運 姫路岡山間
垂水 Tarumi	1.62	6.30	6¼		
、、	1.16	8.12	8¼		
、、		9.28			
、、					
、、					
、、					
、、					
※姫路 Himeji	5.17	34.05	34	單線	1,424 1,424
網干 Aboshi	6.30	40.35	40½		820 820 628(複線)
龍野 Tatsuno	3.56	44.11	44¼		
、、					
、、					
、、					
、、					
、、					
長岡 Nagaoka	5.05	84.48	84½		950 950
※岡山 Okayama	4.41	89.09	89		1,90 1,80(申線) 1,840
兵庫 Hyogo				單線	
(貨)和田岬 Wadamisaki	1.57	2.67		貨物線	1.230

轉區域	有側線ノ長	設備ノ通信	貯水器ノ數	轉車臺ノ數	運車臺ノ數	造待各個數延	線側ノ長	設備ノ通信	貯水器ノ數	轉車臺ノ數	運車臺ノ數
神戸兵庫間	哩鎖										
兵庫姫路間	1,1(申線)	信、話	1	1	1						
姫路岡山間	1,056(申線)	話									
卸問 兵庫和田	749(申線)	話									

本院工務課

翌年一月末日限提出

貨車一覽表

調製日末月二十年何治明

第十號　運轉課　翌年一月末日限提出

種類		積量 重量噸數	積量 容積噸數	輛數 數	輛數 計	輛數 合計	備考
有蓋貨車	貨物車	7	8	10			四、調製スヘシ
		6	4	15	25		前項但書ノ分ニ對シテハ更ニ附表ヲ合計ノ上表記スヘシ
	家畜車						但東部、中部、西部管理局ノ分ハ
	魚運車						本表ハ管理局出張所別ニ調製スヘシ
	油運車						三、
無蓋貨車	貨四車軸枚物車側	8	9	(イ)30	31		板チ鑛轉スルチ得
	貨三車軸枚物車側						二、(ロ)ノ内五輛、(ハ)ノ内十一輛ハ側
	土運車	7	8	(ロ)10			一、(イ)ハ側板ヲ鑛轉スルヲ得
	四枚側車	6	6	20	30		
	石炭車側 四枚	10	10	(ハ)20	20		
	臺車						
緩急車	造合車貨						
	、、、、、						

第十號附表

	有蓋貨車	無蓋貨車	緩急車	合計
東部管理局				
中部管理局				
西部管理局				
讃岐線				
德島線				
合計				

機關車一覽表

調製日末月二十年何治明

第八號　運轉課　翌年一月末日限提出

種別	制式	働輪上ノ重量	總重量（炭水車ヲ含ム）	員數	計	所在	備考
六輪聯結	テンダー	34.09噸本	60.15噸本	3		新橋	三、本表ハ管理局出張所毎ニ調製スヘシ
		34.06	57.00	2			二、働輪上ノ重量ハ聯結總輪數ニ受ケ在ルモノヲ揭ク
		32.01	59.08	2	7	何々工場	一、本表重量ハ總テ運轉整備ノ狀態
	タンク						
四輪聯結	テンダー						
	タンク	19.05	33.08	3		名古屋	
				2			
				4			
		17.11	24.00	2	11		
合計							

客車一覽表

調製日末月二十年何治明

第九號　運轉課　翌年一月末日限提出

種類		積量 旅客定員	輛數 數	輛數 計	輛數 合計	備考
客車	一等	30	3	3		本表ハ管理局出張所毎ニ調製スヘシ
	一二等合造	20 20	2	2		
		24	5			
	二等	18	3	8		
		10 20	2			
	二三等合造	8 18	1	3		
		8.0	5			
	三等	50	100	133	151	
		24	30			
緩急車	二等客車合造					
	三等客車合造					
	三等客車合造					
郵便車	郵便車合造					
	郵便專用車					
	二等客車合造					
	三等客車合造					
	、、、、、					
	、、、、、					

第十一號

職名別表

官房、部、課、局、所

翌年一月末日限提出
明治何年末現在

職名		人員
部長		
局長		
課長		
出張所長		
事務所長		
工場長		
掛長		
驛長		
船長		
助役		
一等機關士		
機關庫主任		
出札掛		
貨物掛		
信號手		
踏切番		
機關手		
建築助手		
庫番		
小使		
、、		
、、		
、、		
其他	事務員	
	技術員	
	計	
總計		

注意

一　本表ハ職名ヲ有スル現在職員ハ總テ之ヲ列記スヘシ

一　其他事務員トハ職名ヲ有セサル技術員以外ノ總テノ者ヲ云フ

一　其他技術員トハ技師、技手、技術雇等ノ如キ職名ヲ有セスシテ技術上ノ事務ニ從事スル者ヲ云フ

一　他官廳ヘ又ハ他官廳ヨリ兼任若クハ兼務ノ者ハ同欄ニ符號ヲ附シテ記載スヘシ

一　女子ハ總テ男子ト區別スヘシ

一　職員現員ハ新任ニアリテハ其任命當日ヨリ加算シ休職、免職及死亡ハ其休職、免職又ハ死亡ノ當日ヨリ控除スヘシ而シテ廢官トナリタルモノハ其廢官ノ日ニ現在スルモノトス例之十二月三十一日限リ廢官トナリタルトキハ其十二月三十一日現在員中ニハ仍其人員ヲ加算スルカ如シ

一　囑託員臨時雇ノ如キハ算入ヲ要セス

一　傭人ハ傭人給料支給規則ニヨリ職名ヲ掲記スヘシ

第十二號（甲）

職員表

官房、部、課、局、所

翌年一月末日限提出
明治何年末現在

職	勅任			奏任												判任										合計	雇員			總計
				參事			副參事			參事補			技師			書記					技手						事務員	技術員	計	
	何等	何等	計	何等	何等	計	何等	何等	計	何等	何等	計	何等	何等	計	何圓	何級	何級	何圓	計	何圓	何級	何級	何圓	計					
人員																											人			
俸級年額																											月俸額　円			

注意

一　本表判任官以上ノ俸給ハ十二月三十一日ノ現員ニ支給スヘキ一箇年ノ給額ヲ掲載シ雇員ノ俸給ハ十二月三十一日ノ現員ニ支給スヘキ一箇月ノ給額ヲ掲載スルコト
但圓ニ滿タサル端數ハ各項ニ於テ四捨五入シ圓位ニ止ムルコト

一　月俸或ハ手當金ハ之ヲ十二倍シテ年額トシ日給ヲ以テ支給スルモノハ三十日分ヲ以テ月俸額ニ改算スルコト但公暇日ニ支給セサル者ハ二十五日分ヲ以テ月俸額ニ改算スルコト

一　他官廳ヨリノ兼務者ハ其兼務ニ據テ俸給又ハ手當金ヲ支給スルモノノミ表中別項ニ朱記スルコト

一　事務雇中ニハ計算、簿記、寫字ニ從事スルモノ技術雇中ニハ總テ技術ニ係ル者ヲ掲載スルコト
但囑託員ハ掲載スヘカラス

一　女子ハ男子ト區別シ別欄ヲ設ケテ記載スヘシ
但臨時雇ハ掲載スヘカラス

一　休職ニ係ルモノニ對シテハ左ノ附表ニヨリ調査スヘシ

勅任	奏任	判任	合計
人	ノ	人	人

十四ノ七

本院會計課

職員表

（乙）號二十第

明治何年度末現在　　翌年度四月末日限提出

		總裁官房		何々部		何々課		鐵道調査所		何々管理局		何々出張所		何々建設事務所		何々建築事務所		〃〃〃		合計	
		人員	給料月額	人員	給料月額	人員	給料月額	人員	給料月額	人員	給料月額	人員	給料月額	人員	給料月額	人員	給料月額	〃〃	〃〃	人員	給料月額
		人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	〃	〃	人	圓
勅任官	事務官 技師 計																				
奏任官	事務官補 參事 參與官 技師 計																				
判任官	記手 書記 技手 計																				
雇員	雇 男 女 務 男 女 事 雇 男 女 術 技 計																				
傭人	夫手 工 男 女 、 路 結 番 線 連 切 踏 、 計																				
總計																					

注意

女子ハ總テ男子ト區別シ別欄ヲ設ケ記載スヘシ

日給者ハ其日給三十日分ヲ以テ給料月額ニ充ツヘシ

職員現員ハ新任ニアリテハ其任命當日ヨリ加算シ休職免職及死亡ハ其休職免職又ハ死亡ノ當日ヨリ控除スヘシ而シテ廢官トナリタルモノハ其ノ廢官ノ日ニ現在スルモノトス例之三月三十一日限發官トナリタルトキハ其三月三十一日現在員中ニハ仍ホ其人員チ加算スルカ如シ

囑託員、臨時雇ノ如キハ算入チ要セス

傭人欄ニハ傭人給料支給規則ニ依リ職名ヲ揭記スヘシ

第十三號

管理局、出張所

石炭消費高表

翌年一月末日限提出

明治何年分

鐵道用	工場用	船舶用	合計
噸	噸	噸	噸

注意

一　鐵道用石炭ハ汽車汽船ニ係ルモノヲ計上スヘシ

一　工場用ハ蒸汽機械ヲ使用スルモノ及ヒ瓦斯又ハコークス製造所ニ消費スルモノニ限ル

第十四號　本院工務課、運輸課、電氣課、工作課、船舶課

國有鐵道災害調

明治何年度　翌年度五月末日限提出

災害種類		軌道 哩	築堤 ケ	切取 ケ	土留 箇所	橋梁 ケ	溝橋 ケ	隧道 ケ	護岸 ケ	水制 ケ	波戸 ケ	棧橋 ケ	雪覆 ケ	電信電話及信號線 間	諸建物 棟	車輛 輛	船舶 隻	何々	雜種損耗	死亡者	負傷者	總計
何府縣何々線何驛間何々 何河川出水（何年何月）	員數																		一			一
	損失價額	円																		一	一	
何府縣何々線何驛間何々 潮害（何年何月）	員數																		一			一
	損失價額	円																		一	一	
何府縣何々線何驛間何々 暴風雨（何年何月）	員數																		一			一
	損失價額	円																		一	一	
何府縣何々線何驛間何々 （何年何月）	員數																		一			一
	損失價額	円																		一	一	

注意

一 本表ハ國有鐵道ニ於ケル一箇年度間ノ水害、潮害其他ノ天災ヨリ生シタル損失ヲ各事項ニ記載シ更ニ災害箇所ノ兩端驛ヲ府縣別ニ區別掲載スルモノトス

一 死亡者、負傷者ハ被害當時驛員或ハ乘客ノ死傷セシモノヲ掲クルモノトス

一 損失價額中工事ニ係ルモノハ其復舊見積額其他ハ各損耗見積額ヲ掲クルモノトス但シ一個所百圓未滿ノ損害ハ調査掲載ヲ要セス

一 雜種損耗ノ項ニハ諸器具、機械、貨物、標柱等他ノ各項ニ掲ケサル諸損害高ヲ掲出スルモノトス

一 停車場內ノ跨線橋ハ諸建物中ニ停車場外ニ於ケル跨線橋ハ橋梁中ニ掲記スヘシ

第十五號　官房、部、課、局、所

公務上死傷者表

明治何年度　翌年度五月末日限提出

	高等官 事故	高等官 過失	高等官 原因不詳	高等官 計	判任官 事故	判任官 過失	判任官 原因不詳	判任官 計	雇員 事故	雇員 過失	雇員 原因不詳	雇員 計	傭人 事故	傭人 過失	傭人 原因不詳	傭人 計	合計
死亡																	
負傷																	

注意

本表ハ鐵道、工場及其他ニ於ケル總テノ死傷者ヲ計上スヘシ

第十六號　工務課

鐵道哩程停車場數區間別表

明治何年度　翌年度五月末日限提出

所管別	線名	區間	線路長 單線	線路長 第二線	線路長 第三線	線路長 計	線延長	軌道延長	停車場數	開業年月日
何々管理局	何々線	何々	哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖		
		、、								
		、、								
		、、								
		計								
何々出張所	何々線	、、								
		、、								
		、、（貨物線）								
合計										

注意

一 第二線第三線等ハ區間ヲ分チテ記載スヘシ

一 當該年度中ニ開業ノ分ニ對シテハ區間毎ニ開業年月日ヲ記入スヘシ

一 貨物線ハ符號ヲ付シテ區別スヘシ

一　既成ノ單線ヲ第二線第三線トナシタルモノハ特ニ符號ヲ付シテ之ヲ區別スヘシ

一　既成鐵道ヲ改築セシ等ノ爲メ其哩程ニ增減ヲ來シタルモノハ附表トシテ左ノ如ク區別掲記スヘシ

線路	區間	增 單線	增 第二線	增 第三線	增 計	增 軌道延長	減 單線	減 第二線	減 第三線	減 計	減 軌道延長
何々線	何々間										
	、、										
	、、										
	、、										
	計										

一　既成線ノ停車場ヲ增設シタルトキモ亦左ノ如キ附表ヲ掲クヘシ

線名	區間	停車場名	開業年月日

一　線路哩數ヲ算出スルニハ兩端驛ハ起終兩點ヨリシ中間驛及支線接續驛ニ在ツテハ該停車場中心點ヨリ算出スヘシ

一　哩程ハ總テ實測哩ヲ掲クヘシ

一　側線ノ欄ニハ待避線及停車場內支線等ヲ記載スヘシ

一　停車場數中給水所信號所又ハ貨物驛貨物取扱所ノ如キ旅客若クハ貨物ヲ取扱ハサルモノハ之ヲ區別記載スヘシ

一　本線ト支線トノ分岐點ノ停車場ハ其本線ノ方ニ算入シ又タ會社線ヲ接續スル線路ニシテ會社所屬ノ停車場ヲ使用スルモノハ朱記スヘシ

第十七號　建設部　翌年度五月末日限提出

鐵道未成線區間別表

何年度末現在

	線名	區間	哩程（哩 鎖）	竣工期限
工事中線	何々線	何々間		
	、、	、、		
	、、	、、		
工事未著手線	、、	、、		
	、、	、、		
、、	、、	、、		
	、、	、、		
合計				

注意

一　貨物線ハ符號ヲ付シテ區別スヘシ

一　線路哩程ヲ算出スルニハ兩端驛ニ在テハ起終兩點ヨリシ中間驛及支線接續驛ニ在テハ該停車場中心點ヨリ算出スヘシ

第十八號　鐵道院年報材料　翌年度七月十五日限提出

官房、部、課、局、所

一　國有鐵道ニ關スル統計

體裁及樣式ハ四十年度年報ヲ標準トスヘシ

但シ電氣通信線路圖及東海道第二線市街線工事工程一覽圖ハ廢止ス

監理部

二　私設鐵道ニ關スル統計

三　軌道ニ關スル統計

四　南滿洲鐵道ニ關スル統計

第十九號 統計月報 目錄

其一 列車走行哩程表
其二 車輛走行哩程表
其三 運輸收入表
其四 客車運輸成績表
其五 貨車運輸成績表
其六 船舶運輸表
其七 各驛間旅客發著及通過一覽表
其八 各驛間貨物發著及通過一覽表
其九 主要貨物發送噸數表
其十 團體乘車表
其十一 壹萬圓以上收入驛順次表
其十二 (甲)機關車運轉成績表(實數之部)
其十二 (乙)機關車運轉成績表(割合之部)
其十三 客貨車運轉成績表
其十四 汽動車運轉成績表
其十五 車輛現在表
其十六 製修費概算表
其十七 車輛修繕輛數表
其十八 (甲)車輛修繕明細表(機關車)
其十八 (乙)車輛修繕明細表(客車)
其十八 (丙)車輛修繕明細表(貨車)
其十九 (甲)職工其他現在表(人員)
其十九 (乙)職工其他現在表(平均賃金)
其二十 工場職工負傷者表
其二十一 電氣通信設備現在表
其二十二 電氣通信障碍表
其二十三 電氣通數表
其二十四 公衆電報取扱料金表
其二十五 電力設備現在表
其二十六 發電成績表
其二十七 變流變壓成績表
其二十八 電車運轉成績表
其二十九 船舶及從事員表
其三十 船舶費表
其三十一 ホテル旅客取扱數表
其三十二 ホテル營業收支表
其三十三 ホテル從事員表
其三十四 救濟組合收支金額比較表
其三十五 救濟組合員加入脱退表
其三十六 救濟組合員死因表
其三十七 收益勘定表
其三十八 (甲)資本勘定表(建設及改良之分)
其三十八 (乙)資本勘定表(用品及工作之分)
其三十九 職員表
其四十 規約郵便貯金表

以上

第十九號統計月報 其一

列車走行哩程表

明治何年何月分

本院調査課 翌々月末日限提出

局所別 / 種別	何々管理局 本年度	何々管理局 前年度比較增減	〃 本年度	〃 前年度比較增減	何々出張所 本年度	何々出張所 前年度比較增減	〃 本年度	〃 前年度比較增減	合計 本年度	合計 前年度比較增減
營業哩程	哩分	哩分	〃	〃	哩分	哩分	〃	〃	哩分	哩分
平均營業哩日數	日分 哩	日分 哩	〃	〃	日分 哩	日分 哩	〃	〃	日分 哩	日分 哩
旅客列車走行哩										
貨物列車走行哩										
混合列車走行哩										
換算電車又ハ汽動車列車走行哩										
何月合計										
一日平均列車走行哩 普通列車 / 電車又ハ汽動車 / 合計	哩分	哩分	〃	〃	哩分	哩分	〃	〃	哩分	哩分
一日平均列車回數 普通列車 / 電車又ハ汽動車 / 合計	回分	回分	〃	〃	回分	回分	〃	〃	回分	回分

車輛走行哩程表

第十九號統計月報
其二

本院調查課
明治何年何月分　翌々月末日限提出

種別＼局所別	何々管理局 本年度	何々管理局 前年度比較增減	丶丶丶丶丶 丶丶丶	丶丶丶丶丶 丶丶丶丶丶	何々出張所 本年度	何々出張所 前年度比較增減	丶丶丶丶丶 丶丶丶	丶丶丶丶丶 丶丶丶丶丶	合計 本年度	合計 前年度比較增減
旅客列車連結客車走行哩	哩	哩	、	、	哩	哩	、	、	哩	哩
貨物列車連結客車走行哩										
混合列車連結客車走行哩										
電車又ハ汽動車走行哩										
合計										
貨物列車連結貨車走行哩										
旅客列車連結貨車走行哩										
混合列車連結貨車走行哩										
合計										
何月總計										

運輸收入表

第十九號統計月報
其三

本院調查課
明治何年何月分　翌々月末日限提出

種別＼局所別	何々管理局 本年度	何々管理局 前年度比較增減	丶丶丶丶丶 丶丶丶	丶丶丶丶丶 丶丶丶丶丶	何々出張所 本年度	何々出張所 前年度比較增減	丶丶丶丶丶 丶丶丶	丶丶丶丶丶 丶丶丶丶丶	合計 本年度	合計 前年度比較增減
鐵道收入 客車	円	円	、	、	円	円	、	、	円	円
鐵道收入 貨車										
鐵道收入 計										
一哩平均鐵道收入	錢	錢	、	、	錢	錢	、	、	錢	錢
一日一哩平均鐵道收入										
船舶收入	円	円	、	、	円	円	、	、	円	円
何月合計										
一日平均運輸收入	錢	錢	、	、	錢	錢	、	、	錢	錢

本院調査課
翌々月末日限提出
月分

總計 本年度	總計 前年度比較増減
〃	〃
〃	〃

第十九號統計月報

其九

主要貨物發送噸數表

明治何年何月分

本院調査課
翌々月末日限提出

種別 / 局所別	何々管理局 本年度	何々管理局 前年度比較増減	〃 〃	〃 〃	何々出張所 本年度	何々出張所 前年度比較増減	〃 〃	〃 〃	合計 本年度	合計 前年度比較増減
	噸	噸			噸	噸			噸	噸
麥粉										
大豆										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
〃										
合計										

第十九號統計月報　其九

主要貨物發送噸數表

明治何年何月分

本院調査課

翌々月末日限提出

局所別 ＼ 種別	何々管理局 本年度	何々管理局 前年度比較増減	何々出張所 本年度	何々出張所 前年度比較増減	合計 本年度	合計 前年度比較増減
麥						
大豆						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
合計						

客車運輸成績表

明治何年何月分

本院調査課

翌々月末日限提出

局所別 ＼ 種別	何々管理局 本年度	何々管理局 前年度比較増減	〃	〃	〃	〃	何々出張所 本年度	何々出張所 前年度比較増減	〃	〃	總計 本年度	總計 前年度比較増減
營業哩程	分哩											
平均營業哩程	分哩日											
平均營業哩程	分車哩日											
列車走行哩數												
車輛走行哩數												
一車平均連結車數												
一車日走行哩數												
一車平均延長哩程												
乘客人員 一等	人											
乘客人員 二等												
乘客人員 三等												
乘客人員 計												
一日平均乘客人員												
延人哩 一等	人哩											
延人哩 二等												
延人哩 三等												
延人哩 計												
一人平均乘車哩程 一等	分哩											
一人平均乘車哩程 二等												
一人平均乘車哩程 三等												
一人平均乘車哩程 計												
一哩平均乘車人員	人分											
一日平均乘車人員	人											
一哩平均乘車人員												
一哩平均乘車人員												
一哩走行乘車人員												
一哩走行乘車人員												
客車收入 乘客賃金 一等	円											
客車收入 乘客賃金 二等												
客車收入 乘客賃金 三等												
客車收入 乘客賃金 計												
客車收入 手荷物賃金												
客車收入 小荷物賃金												
客車收入 郵便物料金												
客車收入 場入												
客車收入 雜収入												
客車收入 合計												
一日平均客車收入	錢厘											
一哩平均客車收入												
一日一哩平均客車收入												
列車走行一哩平均客車收入												
車輛走行一哩平均客車收入												
一車一日平均客車收入												
一人平均乘客賃金 一等	毛											
一人平均乘客賃金 二等												
一人平均乘客賃金 三等												
一人平均乘客賃金 計												
小荷物噸數（郵便物ヲ含マス）	噸											
小荷物一噸平均賃金	円											

本院調査課

翌々月末日限提出

、、	總計	
、、	本年度	前年度比較增減

本院調査課

翌々月末日限提出

總計	
本年度	前年度比較增減

貨車運輸成績表

明治何年何月分　　本院調査課　翌々月末日限提出

種別 ＼ 局所別	何々管理局 本年度	前年度比較 増減	〃	〃	〃	〃	何々出張所 本年度	前年度比較 増減	〃	〃	總計 本年度	前年度比較 増減
營業哩程	哩分											
平均營業哩程	日分											
平均營業日數	哩											
列車走行哩												
車輛走行哩												
同上ノ內空車走行哩												
車輛走行百哩ニ對スル空車哩												
一列車平均連結車數	車分											
車輛使用延日車數	日哩											
一車一日平均走行哩												
貨物噸數 通達常	噸											
貨物噸數 通達切												
貨物噸數 貸												
貨物噸數 計												
一日平均貨物噸數												
延噸哩 通達常	順哩											
延噸哩 通達切												
延噸哩 貸												
延噸哩 計												
一噸平均輸送哩 通達常	哩分											
一噸平均輸送哩 通達切												
一噸平均輸送哩 貸												
一噸平均輸送哩 計												
一哩平均貨物噸數	噸順											
一日一哩平均貨物噸數	分											
列車走行一哩平均貨物噸數												
車輛走行一哩平均貨物噸數												
積車走行一哩平均貨物噸數												
貨車收入 貨物賃金 通達常	円											
貨車收入 貨物賃金 通達切												
貨車收入 貨物賃金 貸												
貨車收入 貨物賃金 計												
貨車收入 發著手數料												
貨車收入 雜收												
貨車收入 合計												
一日平均貨車收入	錢厘錢											
一哩平均貨車收入												
一日一哩平均貨車收入												
列車走行一哩平均貨車收入												
車輛走行一哩平均貨車收入												
積車走行一哩平均貨車收入												
一車一日平均貨車收入												
一噸平均貨物賃金 通達常												
一噸平均貨物賃金 通達切												
一噸平均貨物賃金 貸												
一噸平均貨物賃金 計												
一噸平均發著手數料												
一噸一哩平均 通達常	毛											
一噸一哩平均 通達切												
一噸一哩平均 貸												
一噸一哩平均 計												
一噸一哩平均發著手數料												

營業哩程		航海回數		運乘					
				鐵道連絡ノニルモノサセ		鐵道連絡ノ		計	
本年度	前年度比較増減	本年度	前年度比較増減	本年度	前年度比較増減	本年度	前年度比較増減	本年度	前年度比較増減
哩	哩	回	回	人	人	人	人	円	円

報

營業哩程		航海回數		運乘					
				鐵道ニ連絡ノナイモノ		鐵道連絡ノ		計	
本年度	前年度比較增減	本年度	前年度比較增減	本年度	前年度比較增減	本年度	前年度比較增減	本年度	前年度比較增減
哩	哩	回	回	人	人	人	人	円	円

第十九號統計月報　其六

船舶運輸表

明治何年何月分

本院調査課　翌々月末日限提出

局所別	航路別	航路浬程 本年度	航路浬程 前年度比較増減	特定營業哩程 本年度	特定營業哩程 前年度比較増減	航海回數 本年度	航海回數 前年度比較増減	運輸數量 乘客 鐵道ニ連絡ノセサルモノ 本年度	同 前年度比較増減	鐵道連絡ノモノ 本年度	同 前年度比較増減	計 本年度	同 前年度比較増減	貨物 鐵道ニ連絡ノセサルモノ 本年度	同 前年度比較増減	鐵道連絡ノモノ 本年度	同 前年度比較増減	計 本年度	同 前年度比較増減	小手荷物 本年度	同 前年度比較増減	運輸收入 乘客 本年度	同 前年度比較増減	貨物 本年度	同 前年度比較増減	小手荷物 本年度	同 前年度比較増減	郵便物 本年度	同 前年度比較増減	合計 本年度	同 前年度比較増減
		浬分	浬分	哩	哩	回	回	人	人	人	人	人	人	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
何管理局	何々間 計																														
、	、、、、、																														
、	、、、、、																														
、	、																														
何月總計																															
四月																															
五月																															
、	、																														
、	、																														

第十九號統計月報　其七

各驛間旅客發著及通過一覽表

明治何年何月分

本院調査課　翌々々月五日限提出

様式ハ四十年度年報第七表ニ依ル
曲尺一分ヲ以テ一萬人ヲ示スヘシ

第十九號統計月報　其八

各驛間貨物發著及通過一覽表

明治何年何月分

本院調査課　翌々々月五日限提出

様式ハ四十年度年報第八表ニ依ル
曲尺一分ヲ以テ二千噸ヲ示スヘシ

谷驛間旅客發着及通過一覽表

谷驛間貨物發着及通過一覽表

報月計統號九十第
其十

團體乘車表

本院營業課

出提限日末月翌　分月何年何治明

局所別	團體種別	割引種別 二割乃至五厘 人員 大人	小兒	計	延人哩	二割乃至五分七割二 人員 大人	小兒	計	延人哩	三割乃至五分七割三 人員 大人	小兒	計	延人哩	四割乃至五 人員 大人	小兒	計	延人哩	總計 人員 大人	小兒	計	延人哩
何管理局	通學生計																				
、、、、	、、、																				
、、、、	、、、																				
何出張所	通學生計																				
總計	通學生計																				
減増較比度年前																					
四月																					
五月																					
、、																					
、、																					
、																					

注意　勞働團體ハ一號ヲ附シ別揭區別ニ特科團體ハ一哩人延ルヲ跨ニ上所局理管ノ賣發券車乘テ總ハ一哩人延ルヲ跨ニ二以上局理管ノ局へ計上スヘシ

壹萬圓以上收入驛順次表

第十九號統計月報 本院營業課

其十一 明治何年何月分 翌月末日限提出

順次	驛名	旅客賃金	小手荷物賃金	貨物賃金	合計
		円	円	円	円
1	何々				
2	、、				
、、	、、				
、、	、、				
、、	、、				
、、	、、				
何月總計	驛數				
	何管理局				
	、、、、				
	何出張所				
	總計				
	前年度比較增減				
四月					
五月					
、、	、、				
、、	、、				
、、	、、				

注意 驛名ニハ符號ヲ以テ所管局所ヲ附記スヘシ

機關車運轉成績表 (實數之部)

第十九號統計月報 本院運轉課

其十二(甲) 明治何年何月分 翌月末日限提出

局所別	機關庫別	月末配置現在機關車數	月末現在機關車乘務員數	機關車走行哩	換算車輛走行哩 客車	換算車輛走行哩 貨車	換算車輛走行哩 合計	燃料 運轉用 數量	燃料 運轉用 價額	燃料 點火用	燃料 點火用	燃料 給水用其他	燃料 給水用其他	燃料 計	燃料 計	油類 汽筒用	油類 汽筒用	油類 機械用	油類 機械用	油類 點燈用其他	油類 點燈用其他	油類 計	油類 計	價額合計
		輛	人	哩分	、、	、、	、、	斤	厘	、、	、、	、、	、、	、、	、、	匁	厘	、、	、、	、、	、、	、、	、、	厘
何管理局	何々																							
	、、																							
	、、																							
	合計																							
	前年度比較增減																							
	四月																							
	五月																							
	、、																							
、、	、、																							
何出張所	、、																							
何月總計																								
前年度比較增減																								
四月																								
五月																								
、、	、、																							

注意
機關車乘務員ハ機關手、同心得、火夫、同心得ヲ含ム
更ニ上部ニ記入スヘシ
燃料用石油洋一升ハ石炭五斤四ニ換算ノ上石炭ニ合算シ何符號ヲ以テ

第十九號統計月報
其十二（乙）

機關車運轉成績表（部之合割）

明治何年何月分

本院運轉課
翌月末日限提出

局所別	機關車別	機關車																		客貨車走行用燃料	
		牽引車平均一車數	走行哩平均一日	走行哩平均一車	日走行哩平均一車	一哩燃料		走行百哩燃料		走行百哩汽筒用油類		走行百哩機械用油類		走行百哩油類		走行百哩總量	價額合計百哩走行	客貨車走行百哩運轉用燃料	
						走行運轉數量	價額											數量	價額
		車分	哩分	哩	哩	斤	厘	、	、	升	瓦	、	、	、	、	、	瓦	斤	錢
何管理局	何々 計 前年度比較増減 合計 四五月 、、 、、																		
何出張所	何 、、 、、																		
何月	總計																		
	前年度比較増減																		
四月																			
五月																			
、、																			
、、																			

注意　燃料用石油洋一升ハ石炭二四斤五ノ換算ニ合算ノ上算出スルモノトス

第十九號統計月報
其十三

客貨車運轉成績表

明治何年何月分

本院運轉課
翌月末日限提出

	何管理局								何出張所				合計			
	油類			換算車輛一哩＝對スル萬哩合剰走行												
	數量	價額	數量	價額												
	升	厘	升	厘	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
何月																
前年度比較増減																
四月																
五月																
、、																
、、																

報月計統號九十第
其十四

汽動車運轉成績表

明治何年何月分

本院運轉課
翌月末日限提出

局所別	機關庫別	月末現在輛數	月末現在乘務員	運轉哩	平均一日走行哩	平均一車走行哩	日平均一車走行哩	燃料 運轉用 數量	價額	走行一哩平均 數量	價額	點火用 數量	價額	計 數量	價額	走行百哩平均 數量	價額
、	、、	輛	人	哩分	〃	〃	〃	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓
、	、、																
、	何月計年度減比較前增																
	四月																
	五月																
	、、																
	、、																

局所別	機關庫別	油類 汽筒用 數量	價額	走行百哩平均 數量	價額	機械用 、	、	、	、	點燈用其他 數量	價額	計 數量	價額	走行百哩平均 數量	價額	價額合計	走行百哩平均價額
、	、、	勺	圓	勺	圓	、	、	、	、	勺	圓	勺	圓	勺	圓	圓	圓
、	、、																
、	何月計年度減比較前增																
	四月																
	五月																
	、、																
	、、																

報月計統號九十第
其十五

車輛現在表

明治何年何月末日現在

官房文書課
翌月末日限提出

	機關車 本年度	前年度比較增減	客車 本年度	前年度比較增減	貨車 本年度	前年度比較增減
	車	車	車	車	車	車
四月						
五月						
〃						
〃						
〃						
何管理局						
〃						
〃						
〃						
〃						
何出張所						
〃						
工事專用						
會社線運轉						
〃						
〃						
〃						
總計						

注意　御料車及私有車ハ欄外ニ別記スヘシ

報月計統號九十第
其十六

製修費概算表

本院工作課
翌月末日限提出

明治何年何月分

別場工所局		製作改造				修繕					院外品	間接費	總計	度年前比較減增
		機關車	客車	貨車	藏品貯物	機關車	客車	貨車	業品作用	金品資用				
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
何々管理局	何々工場	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
工場計	何々管理局	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
機關庫其他計	何々管理局	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	何々出張所	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
合計														
四月														
五月														
〃														
〃														

報月計統號九十第
其十七

車輛修繕輛數表

本院工作課
翌月末日限提出

明治何年何月分

別場工所局		機關車						客車						貨車					
		本月入場	本月出場	月末在場	在場車數平均一日	在場割合ニ對スル現在車輛	在場日數平均一車	本月入場	本月出場	月末在場	在場車數平均一日	在場割合ニ對スル現在車輛	在場日數平均一車	本月入場	本月出場	月末在場	在場車數平均一日	在場割合ニ對スル現在車輛	在場日數平均一車
		輛	輛	輛	輛	分割	日	輛	輛	輛	輛	分割	日	輛	輛	輛	輛	分割	日
何々管理局	何々工場																		
工場計	何々管理局																		
機關庫其他計	何々管理局																		
	何々出張所																		
合計																			
四月																			
五月																			

第十九號統計月報
其十六(甲)

車輛修繕明細表（機關車）

明治何年何月分

本院工作課
翌月末日限提出

局所別		鑢	鋼	火室板	火室管板	煙室管板	煙管	支柱
		取替	切継常金ノ外	取替	切継常金ノ外	取替	切継常金ノ外	取替
		個	枚	枚	枚	枚	本	本
工場	何々管理局							
	〃							
	〃							
	計							
機關庫其他	何々管理局							
	〃							
	〃							
	何々出張所							
	〃							
	計							
合計								
四月								
五月								
〃								
〃								

局所別		ロプラスパイラルツラインドブ取替	ベヤリングス取替	車軸受取替	車輪嵌入	車軸	外輪	制輪子取替	連結器取替修繕	排障機取替修繕	車輪	外輪
		個	個	個	個	本	個	本	個	個	個	個
工場	何々管理局											
	〃											
	〃											
	計											
機關庫其他	何々管理局											
	〃											
	〃											
	何々出張所											
	〃											
	計											
合計												
四月												
五月												
〃												
〃												

第十九號統計月報
其十六(乙)

車輛修繕明細表（客車）

明治何年何月分

本院工作課
翌月末日限提出

局所別		車軸受取替	車軸嵌入	車輪倒正	軸盤取替	外輪嵌替	車輪	連環連結器修繕取替	何々連結器修繕取替	側輪子取替	バッファーユニームス取替	屋根	派	其他修繕	蒲團裝地取替
		個	本	個	個	個	個	個	個	個	本	輛		輛	個
工場	何々管理局														
	〃														
	〃														
	計														
機關庫其他	何々管理局														
	〃														
	〃														
	何々出張所														
	〃														
	計														
合計															
四月															
五月															
〃															
〃															

第十九號統計月報
其十八(丙)

車輛修繕明細表（貨車）

明治何年何月分

本院工作課
翌月末日限提出

局所別		車輪車軸取替	車軸入替	車輪削正	外輪張替	軸筐取替	ベアリングス取替	擔彈機修繕取替	緩衝器取替	緩衝器取替	牽引取付修繕	螺旋連結器修繕	連環連結器修繕取替	何々連結器修繕取替	側輪子取替	バネユニームス取替	屋根張取替	其他修繕
		個	本	個	個	個	個	個	個	個	本	本	連	個	個	本	輛	輛
工場	何々管理局、、、、																	
	計																	
機關庫	何々管理局、、、																	
其他	何々出張所、、																	
	計																	
合計																		
四五月、、、																		

第十九號統計月報
第十九(甲)

職工其他現在表（人員）

明治何年何月末日現在

本院工作課
翌月末日限提出

局所工場別		旋盤工	組立工	仕上工	鋼工	鍛冶工	製罐工	鑄型工	摸型工	木挽工	木塗工	縫工	電機工	機關手及火夫	道具人夫	定傭計	前年度比較増減
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
何々管理局工場	何々工場、、、																
	工場計																
	何々管理局、、、																
	計																
機關庫其他計	何々管理局、何々出張所、、																
	計																
合計																	
四五月、、、																	

第十九號統計月報
其十九(乙)

本院工作課
翌月末日限提出

職工其他現在表 (平均賃金)

明治何年何月末日現在

局所別	工場別	旋盤工	組立工	仕上工	銅工	鍛冶工	製鐵工	鑄工	摸型工	木挽工	木工	塗工	縫工	電機工	機關手及火夫	道具番	定傭人夫	計	前年度比較增減
		錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
何々管理局	何々工場																		
工場計	何々管理局																		
機關庫其他計	何々管理局所出張																		
合計																			
四月																			
五月																			
、、																			

第十九號統計月報
其二十

總裁官房文書課
翌月末日限提出

工場職工負傷者表

明治何年何月分

局所別	工場別	原因	全治日數 内 五日以内 切創及打創	刺創	挫傷及挫創	擦過傷	骨折	脫臼及捻挫	火傷	眼部損傷	其他	計	十日以内	二十日以内	三十日以内	三十日以上	合計 切創及打創	刺創	挫傷及挫創	擦過傷	骨折	脫臼及捻挫	火傷	眼部損傷	其他	計	月末現在職工	スル負傷者職工百人ニ對
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人					人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	分
何々管理局	何々	失過事故計																										
	、、	、、																										
	計	、、																										
、、	、、	、、																										
何所出張	、、	、、																										
何月總計		失過事故計																										
前年度比較		減增																										
四月																												
五月																												
、、																												
、、																												

注意 本表ハ當該月負傷ノ人數ヲ揭クルモノトス但同一人ニ二回以上ノ負傷ハ每回一人ニ計算スヘシ
全治日數ハ全治シタル日數又ハ醫師ノ診斷シタル日數ヲ揭クヘシ
負傷ニ因ル死亡者數ハ欄外ニ記載スヘシ
職工百人ニ對スル負傷者ハ工場每ニ過失及事故ノ合計數ニ就キ算出スヘシ

第十九號統計月報
其二十一

電氣通信設備現在表

明治何年何月分

本院電氣課
翌月末日限提出

局所別	電線路 亘長	電線路 延長	電信機	電話機	信號機 閉塞器	信號機 其他
	哩 町 間	哩 町 間	臺	個	個	個
何管理局						
、 、						
何出張所						
何月總計						
前年度比較增減						
四月						
五月						
、 、						
、 、						

第十九號統計月報
其二十二

電氣通信障碍表

明治何年何月分

本院電氣課
翌月末日限提出

局所別	通信區	電信回線 斷線	電信回線 混線	電信回線 地氣	電信回線 其他	電信回線 計	電話回線 斷線	電話回線 混線	電話回線 地氣	電話回線 其他	電話回線 計	信號回線 斷線	信號回線 混線	信號回線 地氣	信號回線 其他	信號回線 計	合計
		回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回
何管理局	何々																
	、 、																
	、 、																
	計																
、	、 、																
、	、 、																
、	、 、																
、	、																
何出張所	何々																
	、 、																
	計																
何月總計																	
前年度比較增減																	
四月																	
五月																	
、	、																
、	、																

電報通數表

明治何年何月分

本院電氣課 翌月末日限提出

種別 / 局所別	取扱數 電報局所驛 總數	取扱數 電報局所驛 内公衆電報	受送電報 總數 電信	受送電報 總數 電話	使用機械數 電報 内公衆送受用機械 電信	使用機械數 電報 内公衆送受用機械 電話	鐵道電報通數 發信	鐵道電報通數 著信	鐵道電報通數 中繼信	鐵道電報通數 合計	公衆電報通數 發信	公衆電報通數 著信	公衆電報通數 中繼信	公衆電報通數 合計	總計
	通	所	通	個	座	個	通	通	通	通	通	通	通	通	通
何管理局															
、															
、															
何出張所															
何月總計															
前年度比較增減															
四月															
五月															
、															
、															

公衆電報取扱料金表

明治何年何月分

本院電氣課 翌月末日限提出

局所別	發信	著信	中繼信	交換通信	直達配域内ノ配達	別使配達	舩配達	受取證	正寫	合計	取扱所數	一取扱所平均
	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	箇所	厘
何管理局												
、、、、												
、、、、												
何出張所												
何月總計												
前年度比較增減												
四月												
五月												
、、												
、、												

第十九號統計月報
其二十五

電力設備現在表

本院電氣課
明治何年何月分　翌月末日限提出

局所別	電線路 亘長	電線路 延長	電力供給機器 發電機 個數	電力供給機器 發電機 容量	電力供給機器 電動機 個數	電力供給機器 電動機 容量	電力供給機器 變壓器 個數	電力供給機器 變壓器 容量	電力供給機器 變流器 個數	電力供給機器 變流器 容量	電力使用機器 電動機 個數	電力使用機器 電動機 容量	電力使用機器 電燈 實個數	電力使用機器 電燈 十六燭光換算個數	電車 通常車	電車 「ボギー」車	電車 附隨車
	里 町 間	里 町 間	個	キロワット	個	キロワット	個	キロワット	個	キロワット	個	馬力	個	個	輛	輛	輛
何管理局																	
、、、、																	
、、、、																	
何出張所																	
何月總計																	
前年度比較增減																	
四月																	
五月																	
、、																	
、、																	

第十九號統計月報
其二十六

發電成績表

本院電氣課
明治何年何月分　翌月末日限提出

局所別	發電所別	發電量 KWH	燃料費消費量 斤	發電費 燃料費 圓	發電費 修繕費 圓	發電費 其他 圓	發電費 合計 圓	一「キロワット」時ニ對スル 燃料費 厘	一「キロワット」時ニ對スル 總費額 厘	一「キロワット」時ニ對スル 燃料量 斤	換算價額 十六燭光一燈 厘	換算價額 一馬力 厘	均石炭一斤價額一平萬 圓
何管理局	何々												
	、、												
	何月計												
	前年度比較增減												
	四月												
	、、												
、	、、												
、	、、、												
、	、、												
、	、、												
何出張所	何々												
	、、												
	、、、												
	、、												
何月總計													
前年度比較增減													
四月													
五月													
、、													
、、													

第十九號統計月報
其二十七

變流變壓成績表

本院電氣課
整月末日限提出
明治何年何月分

局所別	變壓所別	受電量	同上價額	送電量	變流變壓費			送電量一「キロワット」時ニ對スル價額			換算價額		電力供給元
					修繕費	其他	計	原價	變流變壓費	計	十六燭光一燈	一馬力	
		KWH	圓	KWH	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
何管理局	何々、何月計												
〃	〃												
何出張所	何々、何月計												
何月總計													
前年度比較增減													
四月													
五月													
〃													
〃													

第十九號統計月報
其二十八

電車運轉成績表

本院電氣課
整月末日限提出
明治何年何月分

局所別	區間	走行哩程	所要電量				電機修繕件數	所要費額					所要費額平均			一日平均運轉車數
			供給自營	購入	計	走行一哩ニ付		電力費 自營電力費	電力費 購入電力費	電力費 計	其他	合計	走行一哩ニ付	一「キロワット」時ニ付 自營	一「キロワット」時ニ付 購入	
		哩分														
何々管理局	何々間、計															
前年度比較增減																
〃	〃															
何々出張所	何々間、計															
前年度比較增減																
〃	〃															
總計																
前年度比較增減																

第十九號統計月報
其二十九

船舶及從事員表

本院船舶課
明治何年何月分　翌月末日限提出

局所別	航路別	汽船 船數	汽船 總噸數	汽船 乘客定員	其他船舶數	從事員 汽船乘組員	從事員 其他	從事員 計
何々管理局	何々間 〃 〃 〃 計							
	前年度比較増減							
〃	〃 〃 〃							
總計								
前年度比較増減								

第十九號統計月報
其三十

船舶費表

本院船舶課
明治何年何月分　翌月末日限提出

	缺業費	運轉費 給及諸給	備品消費	雇員給	雜給	食料費	石炭費	船舶借用料	貨物手數料	其他	計	船舶修繕費	浮標及繫船杭費	諸稅及手數料	合計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
本院船舶課															
何管理局 船舶課 〃 何々間 〃 計															
〃 船舶課 〃 何々間 〃 計															
何出張所															
何月總計															
前年度比較増減															
四月															
五月															
〃															
〃															

第十九號統計月報
其三十一

何々ホテル旅客取扱數表

明治何年何月分　本院營業課 翌月末日限提出

	宿泊旅客												食事客數	宴會		來泊外國人內譯人種別							
	前月末現在			數泊來			數立出			月末現在													
	日本人	外國人	計	日本人	外國人	計	日本人	外國人	計	日本人	外國人	計		回數	人員	英	米	獨	露	佛	、	、	計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	人	人	人	人	人	人	人	人	人
男																							
女																							
計																							
前年度比較增減																							

注意　食事客數及宴會人員回數ハ男女ノ區別ヲ要セス

本月中ホテル宿泊外人ノ鐵道及海路別發著客數次ノ如シ

	鐵道	海路						合計
		天津	上海	、	、	、	計	
	人	人	人	人	人	人	人	人
著								
前年度比較增減								
發								
前年度比較增減								

第十九號統計月報
其三十二

何々ホテル營業收支表

明治何年何月分　本院營業課 翌月末日限提出

	室數	定員數	宿泊旅客延人員	收入					支出	收支ノ差	收入百圓ニ對スル支出
				宿泊	食事	酒場	雜入	合計			
				円	円	円	円	円	円	円	円
四月											
五月											
六月											
、、											
前年度比較增減											

第十九號統計月報
其三十三

何々ホテル從事員表

明治何年何月分　本院營業課 翌月末日限提出

職名別	人員		給料月額	
	本年度	前年度比較增減	本年度	前年度比較增減
	人	人	錢	錢
書記				
料理長				
給仕				
、、				
計				

注意　本表日給者ハ三十日ヲ以テ一個月ニ換算上計上スヘシ

第十九號統計月報
其三十四

救濟組合收支金額比較表

明治何年何月分

本院保健課
翌々月十五日限提出

種別	收入 本年度	收入 前年度比較增減	記事	種別	支出 本年度 人員	支出 本年度 金額	支出 前年度比較增減 人員	支出 前年度比較增減 金額	記事
	圓	圓			人	圓	人	圓	
前月末現在高				死亡救濟金					
政府給與金				傷痍救濟金					
組合員掛金				、、、					
預金利子				、、、					
、、、、				、、、					
、、、、									
、、、、									
合計				合計					

第十九號統計月報
其三十五

救濟組合員加入脫退表

明治何年何月分

本院保健課
翌月末日限提出

部課局所別	加入人員 採用	加入人員 非現業員ヨリ加入	加入人員 任意加入	加入人員 合計	脫退人員 死亡	脫退人員 非現業員ニ轉ジタルモノ及判任官	脫退人員 陸海軍ニ召集	脫退人員 退官及退職	脫退人員 合計	加入ノ退脫差
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
、、、、										
、、、、										
、、、、										
、、、、										
何月總計										
前年度比較增減										
四月										
五月										
、、										
、、										

第十九號統計月報
其三十六

救濟組合員死因表

本院保健課
明治何年何月分　翌月末日限提出

死因 ＼ 職務種別	驛員 甲種	驛員 乙種	驛員 丙種	驛員 計	機關車員 甲種	機關車員 乙種	機關車員 丙種	機關車員 計	工場員 甲種	工場員 乙種	工場員 丙種	工場員 計	保線區員 甲種	保線區員 乙種	保線區員 丙種	保線區員 計	其他 甲種	其他 乙種	其他 丙種	其他 計	合計 甲種	合計 乙種	合計 丙種	合計 計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
傷死 公務ニ基因スルモノ																								
傷死 公務ニ基因セサルモノ																								
傷死 計																								
病死 何病																								
病死 何病																								
病死 何病																								
病死 計																								
何月總計																								
前年度比較增減																								
四月																								
五月																								
、、																								
、、																								

第十九號統計月報
其三十七

收益勘定表

明治何年何月分

本院會計課　翌月末日限提出

月別	歲入 運輸收入	歲入 雜收入	歲入 計	歲入 前年度比較增減	歲出 作業費（除利子） 事業費（除利子）	歲出 作業費（除利子） 諸拂及缺損補填金	歲出 作業費（除利子） 計	歲出 作業費（除利子） 前年度比較增減	歲出 利子	歲出 合計	作業收支（除利子）ノ差 本年度	作業收支（除利子）ノ差 前年度比較增減
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
四月												
五月												
、、												
累計												

備考　單位四捨五入ニ法ニヨリ圓位ニ止ム其三十三亦同シ

第十九號統計月報
其三十八（甲）

資本勘定表

（建設及改良ノ分）　明治何年何月分

本院會計課　翌月末日限提出

月別	歲入 借入金	歲入 雜收入	歲入 一般會計受入	歲入 計	歲出 建設費 本年度	歲出 建設費 前年度比較增減	歲出 改良費 本年度	歲出 改良費 前年度比較增減	歲出 合計 本年度	歲出 合計 前年度比較增減
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
四月										
五月										
、、										
累計										

第十九號統計月報
其三十八（乙）

資本勘定表

（用品及工作ノ分）

明治何年何月分

本院會計課　翌月末日限提出

月別	歲入 用品及工作收入	歲入 雜收入	歲入 計	歲入 前年度比較增減	歲出 用品及工作費	歲出 前年度比較增減
	円	円	円	円	円	円
四月						
五月						
、、						
累計						

職員表

明治何年何月分

總裁官房秘書課
翌月末日限提出

		總裁官房 人員	總裁官房 給料月額	何々部 人員	何々部 給料月額	何々課 人員	何々課 給料月額	道路試験所 人員	道路試験所 給料月額	何々管理局 人員	何々管理局 給料月額	何々出張所 人員	何々出張所 給料月額	何々建設事務所 人員	何々建設事務所 給料月額	何々建築事務所 人員	何々建築事務所 給料月額	、、、 、、	、、、	合計 人員	合計 給料月額
		人	錢	人	錢	人	錢	人	錢	人	錢	人	錢	人	錢	人	錢	、	、	人	錢
勅任官	事務官																				
	技師																				
	計																				
奏任官	事務官																				
	副参事																				
	参事補																				
	技師																				
	計																				
判任官	記手																				
	書技手																				
	計																				
雇傭人																					
總計																					
前年度比較増減																					
一人平均給額																					

規約郵便貯金表

明治何年何月分

總裁官房文書課
翌月末日限提出

	部課局所別	貯金額 円	人員 人	一人平均貯金額 錢	前月末貯金額 円	同上人員 人	同上一人平均貯金額 錢
本院	、、、						
	、、、						
	、、、						
	計						
出張管理所	、、、						
	、、、						
	、、、						
	計						
事務所	、、、						
	、、、						
	、、、						
	計						
何月總計							
前年度比較増減							
四月							
五月							
、、							
、、							

何工場票

第二十號

管理局、出張所　翌年度六月限提出　何年度末現在調

役員				職工																
人員		年度中給料總額		人員				年度中就業延人員		年度中賃錢總額		年度中就業日數		一日平均就業時間		一人一日平均賃錢				
男	女	男	女		男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		
人	人	円	円	十四歲以上	人			人	人	円	円	日	日	時	時	十四歲以上	錢			
				十四歲未滿	人											十四歲未滿	錢			
				計	人											計	錢			

勞働人夫		主要製品	原動機			工場用石炭	
男	女		名稱	個數	馬力	數量	價額
人	人	何々	汽機		馬力	斤	円
		、、	瓦斯發動機				
		、、	石油發動機				
		、、	發電機				
			電動機				
			何式水車				
			水車				
			……				

注意　本票ハ一工場毎ニ一葉宛調製スヘシ

傭外國人ハ人員給料トモ別項ニ記載スヘシ

兼務者ハ朱書ニテ内譯ヲ示スヘシ

鐵道事故類別表

第二十一號

管理局、出張所　翌年度六月限提出　何年度調

類別	脫線				衝突					顚覆				列車分離	異線進入	車輛不良				線路障碍		列車妨害		車輛逸走	火災	其他	事故件數合計
	回數	車數			回數					回數	車數																
		機關車	客車	貨車	機關車	旅客列車	混合列車	貨物列車	車輛		機關車	客車	貨車			機關車	客車	貨車	電車	天災	人爲	天災	人爲				

注意　一　事故ニシテ脫線衝突顚覆等ノ事故併發シタルトキハ其ノ重大ナルモノ一件ヲ揭ケ尚ホ四十一年度年報所載ノ本表ヲ參照スヘシ

表者犯違令法道鐵　七四六十六

鐵二十二第

管理局、出張所	違犯者ノ行爲	軌道上ニ障碍物ヲ横ヘタルモノ	列車運轉中第三項ノ規定ニ違ヒ列車ノ側面ニ立入リタルモノ	列車ノ安全ニ關係アル鐵道線路ニ立入リタルモノ	列車運轉中車輛ノ側面ニアル梯子ヲ把握シタルモノ	列車ヲ開通ノ鐵道ニ向テ五石類ノ物ヲ投擲シタルモノ	列車ニ向テ發砲シタルモノ	爆發物又ハ劇藥ヲ鐵道地内ニ持込ミタルモノ	鐵道地内ノ標識及掲示ヲ撤去シタルモノ	信號機ヲ毀損シタルモノ	合計
何年度六月限提出調											

注意

線路障害列車妨害等ノ事故ニシテ第二十一號鐵道事故報告規則ニ掲載セラレタルモノモ法令違犯ニ係ルモノハ再ヒ本表ニ編入スヘシ

但シ四十一年度年報所載ノ本表ヲ參照スヘシ

○鐵道事故報告規程

明治四十二年三月四日　達第一三六號
改正　四十三年四月　達第二九一號
四十三年十一月　達第九七七號
四十三年二月　達第八〇號
四十五年一月　達第一二號

鐵道事故報告規程ヲ左ノ通リ定メ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十九年三月達第四一號事故報告規程同年十二月鐵汽庶乙第二三〇二號沿線火災ノ際ニ於ケル現場取調報告ノ件竝本達ニ牴觸スル從來ノ諸規程ハ本達施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鐵道事故報告規程

第一條　鐵道ニ關聯シテ發生スル事故ハ特別ノ規定アルモノヲ除ク外本規程ニ依リ報告スヘシ

第二條　事故ヲ左ノ通リ種別ス

衝突　脫線　顚覆　傾倒
接觸　列車分離　異線進入　車輛逸走
票券誤扱　機關車故障　客、貨車故障　線路障碍　火災　死傷　其他

第三條　鐵道事故ハ左記各號ニ依リ事故發生地所管局所長（管理局、鐵道院出張所ヲ云フ以下之ニ倣フ）ヨリ報告スヘシ

一　顚覆、衝突、死傷、暴風雨雪水害等ニ依ル一時運轉ノ休止竝ニ脫線、接觸其他ノ事故ニシテ著シキ危險若クハ重大ナルモノハ五日以內ニ別記樣式甲號ニヨリ報告スルノ外事故發生地ノ掛員又ハ局所長ヨリ即時總裁、監理部長及運轉課長ニ電報シ尙ホ線路又ハ建造物ニ破損異狀ヲ生シタルトキハ其概要ヲ別ニ丁務課長ニ電報スヘシ但シ自己ノ過失ニ基因スト認ムヘキ死傷ハ總裁ニ電報スルニ及ハス

二　前號ニ揭クルモノヲ除ク外其重大ナラサルモノト雖モ運轉ニ關聯シテ發生シタル左記ノ事故ハ直ニ發生地ノ掛員又ハ局所長ヨリ運轉課長ニ電報スヘシ

イ　三十分以上自他ノ列車ニ遲延ヲ生セシメタルモノ

ロ　其他事態ノ輕微ナラサルモノ

三　線路又ハ建造物ニ異狀ヲ生シ列車運轉ニ注意ヲ要スルモノ又ハ該建造物ノ修繕、改築等ヲ要スルモノ

ハ異狀發見ノ日時、場所、狀況、原因等ヲ詳述シ修繕、改築等ノ意見ヲ具シ別記樣式乙號ニ依リ報告スヘシ

四　事故ハ其輕重ヲ問ハス總テ其種別ニ從ヒ一個月毎ニ別記樣式丙號表ヲ調製シ翌月十五日迄ニ報告スヘシ

但シ本條第一號ニ依リ報告シタルモノト其以外ノモノトニ內譯スヘシ

五　本規程中別ニ樣式ヲ定メサルモノハ局所長ニ於テ適宜調製スヘシ

第四條　脫線、衝突、顚覆、火災、線路障碍竝ニ車輪、車軸、聯結具等ノ破損其他ノ事故ニシテ文書ニヨリ一見明瞭シ難キモノハ總テ圖面ヲ添付シテ說明スヘシ

第五條　車輛不良ニ起因シタル事故報告書ニハ其部分最終檢查ノ場所及年月ヲ（當該列車又ハ機關車若クハ車輛欄下位ニ）記入スヘシ

第六條　死傷事故ニハ職員、乘客、公衆ノ區別發生地ノ狀況、踏切道又ハ番所其他保安設備ノ有無等ヲ詳記スヘシ

第七條　報告書ニハ事故發生ノ原因及其處置ニ對スル關係者ノ責任竝ニ該事件爾後ノ處置ニ對スル意見ヲ附記スヘシ

第八條　報告書ノ調製又ハ調查ニ當リ關係者間ニ於テ意見一致セサルトキハ各其意見ヲ附シ提出スルコトヲ得

第九條　當院所屬員ノ乘務スル列車ニシテ院所屬線以外ノ線路運轉中事故發生シタルトキハ報告書ニハ事故種別欄內餘白ニ「他線運轉中」ト記載スヘシ

他所屬員ノ乘務セル列車ニシテ院所屬線ヲ運轉中事故發生シタルトキハ報告書中關係者ノ氏名欄ニ「他所屬員」ト記載スヘシ

附　則

一　本規程發布以前ノ事故ニシテ報告未濟ノモノハ本規程ニ依リ報告スヘシ

二　樣式中從前ノ用紙アルモノハ訂正使用スルコトヲ得

備考
一　用紙ハ半紙トス
二　圖面又ハ別紙ヲ添付シタルトキハ其旨本欄餘白ニ記入スヘシ

總裁	副總裁	理事長	管理局長	出張所長
	工務課長	運轉課長	電氣課長	建築課長
	工務係員	運轉係員	電氣係員	建築係員

（樣式甲號ノ二）

事故種別	發生日時	場所	關係當該列車又ハ機關車ノ番號	現場ノ狀況	關係者ノ氏名	其他ノ記事	監督者ノ意見
鐵道事故報告	明治　年　月　日　午前後　時　分	何線　何哩　何鎖　何驛間又ハ何驛構內又ハ本線又ハ　線ノ　分	上リ又ハ下リ　列車機關車何號（所屬機關庫名）　貨車（記號番號）　他保安設備ノ有無	死傷事故ニハ事故發生ノ狀況及輪			

事故ノ原因	當時ノ處置	死傷 職員	死傷 乘客	死傷 公衆ノ別	死傷 住所氏名職業年齡男女別	進行停止時間	備考
過誤							
保線課長（電氣課長）（運轉課長）（工務課長）（建築課長）ノ關スル重大ナル線路又ハ建造物ニ限ル）	管理局長（出張所長）ノ報告ヲ要スル重大ナル線路又ハ建造物ニ限ル）	總裁（副總裁）（理事長）（工務課長）（運轉課長）（電氣課長）（建築課長）ノ關スル重大ナル線路又ハ建造物ニ限ル）					
常務者ノ不注意							
何人カ惡戲ナラン							
機關手又ハ轉轍手ノ不注意							
脫線貨客機關車一二	衝突貨客機關車車一二	列車妨害（脫線突發機關車一二）					

（様式甲號ノ二）

總裁 副總裁 管理局長（出張所長）														
	運輸課長													
總裁 副總裁 管理局長（出張所長）														
運輸課長														
運輸課長														

備考

一　用紙ハ半紙トス

二　圖面又ハ別紙ヲ添付シタルトキハ其旨本欄ニ白記入シ置クヘシ

罹災ノ種類	損害見積額	罹災者ノ程度	傷地方ノ風俗人	該當列車ノ番號種類等	該當列車ノ種類及火粉裝置ノ有無	燃料ノ性質
家屋其等ノ如キ	建物其他物件ニ區別シ各見積額ヲ記入スヘシ			該當列車ノ番號種類竝ニ同地通過ノ時刻及乘務者氏名	該當機關車ノ形式及炭水車ノ種類及有無	産出地其他ノ特徴
鐵道院						

罹災位置	天候風位	出火ノ原因	出火ノ時刻	罹災者ノ住所氏名	線火災報告書	總裁 副總裁 管理局長（出張所長） 運輸課長
線路ノ距離及附近ノ地形（平坦又ハ勾配等）（圖面ヲ添附スルヲ要ス）						

（様式甲號ノ二）

（様式乙號）

總裁 副總裁 管理局長（出張所長）														
總裁 副總裁 監理部長 運轉課長 工務課長 文書課長														

種別	事由	區間	期日
衝突			
脫線			
顚覆			
傾倒			
接觸			
列車分離			
異線進入			
車輛逸走			
墜落			
機關車故障			
客貨車輛故障			
線路障碍			
列車妨害			
火災	沿線		
	列車		
	建造物		
其他			

（様式丙號ノ二）

總裁　副總裁　管理局長（出張所長）

明治　年　月分鐵道事故報告表

種別	運輸事務所					總計
衝突						
脫線						
顚覆						
傾倒						
接觸						
列車分離						
異線進入						
車輛逸走						
墜落						
機關車故障						
客貨車輛故障						
線路障碍						
列車妨害						
火災	沿線					
	列車					
	建造物					
其他						
計						

注意

一　本表ハ鐵道事故報告書ヨリ提出シタルモノト其以外ノモノトノ二様ニ調製スヘシ

二　衝突、脫線、顚覆、傾倒、接觸、列車分離、異線進入、車輛逸走及車輛故障等ニ在リテハ列車ノ種類車輛ノ種類竝其ノ車數ヲ分記スヘシ

三　線路障碍及列車妨害ハ天災人爲ニ區別記載スヘシ

四　電車事故ハ朱書スヘシ

（樣式丙號ノ二）

總裁　副總裁　管理局長（出張所長）
　　監理部長
　　運轉課長
　　文書課長
　　保健課長

明治　年　月分鐵道死傷人員報告表

事務所名 ／ 種別	合計 死	合計 傷	衆 乘 客 事故 死	衆 乘 客 事故 傷	衆 乘 客 過失 死	衆 乘 客 過失 傷	衆 乘 客 自殺 死	衆 乘 客 自殺 傷	衆 乘 客 不詳 死	衆 乘 客 不詳 傷	衆 職員 事故 死	衆 職員 事故 傷	衆 職員 過失 死	衆 職員 過失 傷	衆 職員 自殺 死	衆 職員 自殺 傷	衆 職員 不詳 死	衆 職員 不詳 傷	衆 公衆 事故 死	衆 公衆 事故 傷	衆 公衆 過失 死	衆 公衆 過失 傷	衆 公衆 自殺 死	衆 公衆 自殺 傷	衆 公衆 不詳 死	衆 公衆 不詳 傷
運輸事務所																										
運輸事務所																										
運輸事務所																										
運輸事務所																										
運輸事務所																										
運輸事務所																										
總計																										

（樣式丙號ノ三）

總裁　副總裁　管理局長（出張所長）
　　監理部長
　　運轉課長
　　文書課長

明治　年　月分鐵道ニ關スル法令違犯者報告表

事務所名 ／ 種別	違犯者ノ行爲	合計
運輸事務所	軌道上ニ障碍物ヲ橫ヘタル者	
運輸事務所	列車運轉中乘降シタル者	
運輸事務所	列車運轉中車輛ノ側面ニアル車扉ヲ開キタル者	
運輸事務所	妄ニ鐵道線路ニ立入リタル者	
運輸事務所	列車ニ向テ瓦石類ヲ投擲シタル者	
運輸事務所	列車ニ向テ發砲シタル者	
運輸事務所	發賣危險品ヲ携帶乘車シタル者	
運輸事務所	鐵道地內ノ標識及揭示ヲ撤去シタル者	
運輸事務所	信號機ヲ毀損シタル者	
運輸事務所		
運輸事務所		
運輸事務所		
運輸事務所		
運輸事務所		
總計		

注意　線路障碍及列車妨害等ノ事故ニシテ樣式丙號ノ一ニ揭載セラレタルモノモ法令違犯ニ係ルモノハ再ビ本表中ニ編入スヘシ

○天災ニ依ル鐵道災害報告表提出ノ件

明治四十三年十二月二十一日達第一〇四六號

風水雨雪雷震海嘯等ノ天災ニ依リ鐵道ニ被害アルトキハ別紙樣式ニ依リ罹災ノ月ヨリ復舊ノ月迄毎月鐵道災害報告表ヲ製シ翌月十五日迄ニ提出スヘシ

何線鐵道災害報告

明治　年度　月分

（用紙フールスカツプ全紙）

罹災年月日	災害區域	災害原因	列車不通期間月日時	災害 種類	災害 細別	災害 切取 數量	年度決算實額 改良工事	年度決算實額 永久施設 急施工事	年度決算實額 應急工事	改良工事竣功月日	損失見積	摘要
				軌道	砂利敷	立米						
					枕木敷	箇所						
					軌條	立米						
				盛土	他	箇所						
				線路	築堤流失、決潰	立米						
					他	箇所						
				切取	線路切取	立米						
					他	箇所						
				土留	石垣破壞、流失	面積						
					張石流失、破損	面積						
					根巻石垣流失	面積						
					柵	間						
					其	箇所						
				橋梁	破損							
					何川橋梁何橋臺何橋脚壞倒、傾斜、流失							
					何川橋梁何側桁石垣流失破損							

記事

軌道破損ノ原因即チ浸水築堤ノ流失、決潰、切取ノ崩壞等ノ區別ヲ本欄ニ記載ス

線路築堤、地築、道路、踏切道。現狀其他盛土一切ヲ含ム

重大ナル箇所ハ築堤破損ノ長高及架橋梁前後等大體ノ位置ヲ本欄ニ記載ス

線路切取、地築、道路、踏切道其他切取一切ヲ含ム

重大ナル箇所ハ切取崩壞又ハ崩壞セントスル長、幅、深本欄ニ記載ス

河川ノ護岸ヲ除キ他ノ土留及積雪止擁壁、護石、柵等一切ヲ含ム

罹災年月日	災害區域	災害原因	列車不通開通月日時	災害 種類	災害 細別	災害 數量	應急工事方法	改良工事方法	工事竣功月日	損失見積額	年度決算費額 應急工事	年度決算費額 保存及補充工事	年度決算費額 改良工事	記事
				溝橋	何橋梁徑間何呎何箇ノ内何箇流失	箇所								
					何々	箇所								
				雜橋梁	何跨線水道橋何々									
					何跨線道路橋何々									
					何架樋何々									
					何停車場石炭陸棧橋何々									
					何所道路橋何々									
				樋下及伏水隧道		箇所								線路及停車場ニ於ケルモノニ限ル
					何隧道何々	箇所								
					何疏水隧道何々	箇所								
				河川護岸	石垣何々	箇所 面坪								
					其他									
				河川制水	石造制水何々	箇所								
					蛇籠制水何々	箇所								
					牛枠何々	箇所								
					何々	箇所								

罹災年月日	災害區域	災害原因	列車不通開通月日時	災害 種類	災害 細別	災害 數量	應急工事方法	改良工事方法	工事竣功月日	損失見積額	年度決算費額 應急工事	年度決算費額 保存及補充工事	年度決算費額 改良工事	記事
				棧橋		箇所								河海棧橋ニ限ル
					何棧橋何々									
					何々									
				柵垣		間								
				建物		棟								停車場、廳舍、官舍、工場其他一切ノ建物ヲ揭ケ災害同種ノモノハ建物名稱ヲ列記シ數量ヲ合併記載スルコトヲ得
					何所本屋倒壞	棟								
					何所附屬家破損	棟								
					何所官舍埋沒流失	棟								
					何建物何々	棟								
					何所浸水被害	棟								
					自至哩鎖節雪覆何々	間								
				停車場工場構内以外ノ建造物		箇所								
					何々									
				通信線路										
					架空線何々	哩延長								「ケーブル」ノ延長ハ其外長ヲ揭ケ心線條數ヲ本欄ニ記載ス
					電柱何々	本								
					地下線何々	哩長								
					水底線何々	哩長								
				電力線路										

罹災年月日	災害區域	災害原因	列車不通開通月日時	災害種類	災害別	數量	應急工事方法	改良工事方法	工事變損失見積額	年度決算費額		記事
				軌道	架線柱	百延米				應急工事	改良工事	
					電柱	本						
					地下線	百延米						
					補助線	百延米						
					架電軌條	百延米						
				車輛	機關車	輛						
					電氣機關車	輛						
					客車	輛						
					貨車	輛						
					貨客車	輛						
					電車	輛						
				船舶	船	隻						
					小蒸汽船	隻						
					汽艇	隻						
					端舟	隻						
					艀舟	隻						
					團船	隻						
					浮標	個						
				陸揚機械	工場機械	個						工場專用ノ電氣機械ヲ含ム

○行政執行法

明治三十三年六月二日　法律第八四號
改正　四十三年　第五二號

第一條　當該行政官廳ハ泥醉者、瘋癲者、自殺ヲ企ツル者其ノ他救護ヲ要スト認ムル者ニ對シ必要ナル檢束ヲ加ヘ戎器、凶器其ノ他危險ノ虞アル物件ノ假領置ヲ爲スコトヲ得暴行、鬪爭其ノ他公安ヲ害スル虞アル者ニ對シ之ヲ豫防スル爲必要ナルトキ亦同シ

前項ノ檢束ハ翌日ノ日沒後ニ至ルコトヲ得ス又假領置ハ三十日以內ニ於テ其ノ期間ヲ定ムヘシ

第二條　當該行政官廳ハ日出前、日沒後ニ於テハ生命、身體又ハ財產ニ對シ危害切迫セリト認ムルトキ又ハ博奕、密賣淫ノ現行アリト認ムルトキニ非サレハ現居住者ノ意ニ反シテ邸宅ニ入ルコトヲ得ス但シ旅店、劃烹店、其ノ他夜間ト雖衆人ノ出入スル場所ニ於テ其ノ公開時間內ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　當該行政官廳ハ密賣淫犯者若ハ其ノ前科者ニシテ尙密賣淫ノ常習アル者ニ對シ其ノ健康ヲ診斷シ若ハ指定シタル醫師ノ檢診ヲ受ケシメ傳染性疾患ニ罹リ必要アリト認ムルトキハ病院ニ入ラシメ又ハ指定シタル醫師ノ治療ヲ受ケシメ治癒ニ至ル迄指定シタル場所ニ居住セシメ其外出ヲ禁止スルコトヲ得

前項療養ノ費用ハ本人又ハ媒合者ノ負擔トス但シ本人又ハ媒合者ニ於テ費用ヲ負擔スルノ資力ナシト認ムルトキハ廳府縣警察費ヲ以テ支辨スヘシ

第四條　當該行政官廳ハ天災、事變ニ際シ又ハ勅令ノ規定アル場合ニ於テ危害豫防若ハ衞生ノ爲必要ト認ムルトキハ土地、物件ヲ使用、處分シ又ハ其ノ使用ヲ制限スルコトヲ得

第五條　當該行政官廳ハ法令又ハ法令ニ基ツキテ爲ス處分ニ依リ命シタル行爲又ハ不行爲ヲ強制スル爲左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコト

二　強制スヘキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハサルモノナルトキ又ハ不行爲ヲ強制スヘキトキハ命令ノ規定ニ依リ二十五圓以下ノ科料ニ處スルコト

前項ノ處分ハ豫メ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ急迫ノ事情アル場合ニ於テ第一號ノ處分ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

行政官廳ハ第一項ノ處分ニ依リ行爲又ハ不行爲ヲ强制スルコト能ハスト認ムルトキ又ハ急迫ノ事情アル場合ニ非サレハ直接强制ヲ爲スコトヲ得ス

第六條　第三條及第五條ノ費用及第五條ノ過料ハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

行政官廳ハ前項ノ徵收金ニ付國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第一項ノ費用及過料ニ關スル繰替支辨、收入ノ所屬其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　認可又ハ許可ヲ受クルニ非サレハ所有スルコトヲ得サル物件行政廳ノ保管ニ歸シタル場合ニ於テ其ノ所有ヲ認許スヘカラサルトキハ其ノ所有權國庫ニ歸屬ス假領置ヲ爲シタル物件ニシテ一箇年以內ニ交付ヲ請求スル者ナキトキ亦同シ

○行政執行法施行令（明治三十三年六月二日勅令第二五三號）

第一條　廳府縣長官ハ行政執行法第三條ノ健康診斷ヲ行フカ爲必要ナル設備ヲ爲スヘシ

前項設備ニ要スル費用ハ廳府縣警察費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第二條　生命、身體若ハ財產ニ對シ危害切迫セリト認メ又ハ水陸ノ交通ニ危害ヲ及ホスノ虞アリト認メタルトキハ當該行政官廳ハ行政執行法第四條ニ依リ必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

左ノ各號ニ揭クル土地、物件ニ關シテハ法令ノ規定ニ違背シ因テ危害ヲ生シ又ハ健康ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキ亦前項ニ同シ

一　崩壞又ハ人ヲ陷落セシムル虞アル場所

二　家屋其ノ他ノ工作物

三　船車其ノ他交通ノ用ニ供スル器具又ハ裝置

四　汽罐、汽機及其ノ附屬裝置

五　前各號ニ揭ケタルモノノ外主務大臣ノ定メタル土地、物件

第三條　危害豫防ノ爲又ハ衞生上必要ト認ムル物品ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ必要ナル分量ヲ試驗ノ用ニ供スルコトヲ得

第四條　行政執行法第五條ノ過料ハ處分ヲ爲ス行政官廳ノ區別ニ從ヒ左ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ス

一　各省大臣　二十五圓

二　廳府縣長官　十圓

三　其ノ他ノ行政官廳　二圓

第五條　行政執行法第五條ノ戒告ハ履行期間ヲ定メ且書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六條　行政執行法第五條ノ費用ノ徵收ハ現ニ要シタル費用及其ノ納期日ヲ決定シ決定書ノ正本ヲ義務者ニ交付シテ之ヲ爲スヘシ

過料ノ處分ハ其ノ金額及納期日ヲ決定シ決定書ノ正本ヲ義務者ニ交付シテ之ヲ爲スヘシ

第七條　行政執行法第五條ノ費用ハ事務費ノ所屬ニ從ヒ國庫又ハ府縣經濟ヨリ之ヲ支出シ其ノ徵收金及過料ハ事務費ノ所屬ニ從ヒ國庫又ハ府縣經濟ニ收入スヘシ

前項ノ規定ハ行政執行法第三條ノ費用ニ付之ヲ準用ス但シ本人又ハ媒合者ヲシテ病院ニ辨償セシムルトキハ此ノ限ニ在ラス

附　則

第八條　他ノ法令ノ規定ニ依リ行政官廳ニ於テ行政處分ヲ强制スル爲メ戒告ヲ爲スヘキ行爲ヲ爲シ若ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルトキ又ハ行政處分ヲ强制スル爲過料ニ處スルトキハ第五條、第六條及第七條第一項ノ規程ヲ準用ス

○鐵道保安ニ關スル犯罪告發規程（明治四十四年九月十四日達第六七〇號）

鐵道保安ニ關スル犯罪告發規程左ノ通相定ム

鐵道保安ニ關スル犯罪告發規程

第一條　鐵道保安ニ關スル犯罪アルコトヲ認知シ又ハ之アリト思料シタル者ハ直ニ書面又ハ口頭ヲ以テ附近ノ驛長、荷扱所主任、機關庫主任、信號所主任、保線區主任、發電所主任、變壓所主任、電車庫主任、通信區主任又ハ電力主任ニ其旨ヲ告知スヘシ

乘務員カ汽車又ハ電車ノ走行中認知シタル犯罪ハ次ニ停車スル停車場ノ驛長ニ之ヲ告知スヘシ

第二條　驛長又ハ主任前條ノ告知ヲ受ケタルトキハ速ニ其地ノ司法警察官ニ通知シ且ツ檢事ニ告發スヘシ

第三條　犯跡明カナル犯罪ハ發見者ニ於テ直ニ其ノ地ノ司法警察官ニ通知シ犯人逮捕及當該官吏臨檢等ノ便宜ヲ計ルヘシ

前條ノ場合ニ發見者ハ遲滯ナク第一條ノ告知ヲ爲シ其ノ告知ヲ受ケタル驛長又ハ主任ハ第二條ニ依リ告發ヲ爲スヘシ

第四條　第二條ノ規定ニ依リ告發シタルトキハ其ノ告發書ノ謄本ニ左ノ通リ奥書シ所屬長ヲ經由シ局所長ニ提出スヘシ

前記ノ通リ告發致置候間此段及報告候也

年　月　日

驛　長　印

局所長宛

第五條　犯罪トナルヘキ事實アルモ特種ノ事由ニ依リ罪トナラサルモノナルトキハ實行者ノ氏名、事實、證憑及參考事實竝ニ告發セサリシ事由ヲ記載シ警察官ニ通知シ且第四條ニ準シ報告スヘシ

第六條　第四條及第五條ノ報告書ハ局所長ニ於テ每月取纏メ之ヲ總裁ニ提出スヘシ但シ重要ナル事項ハ直ニ報告スヘシ

○鐵道院主管ノ法人設立及監督ニ關スル件

明治四十四年三月十四日閣令第二號

鐵道院ノ主管ニ屬スル法人ノ設立及監督ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鐵道院ノ主管ニ屬スル法人ノ設立ニ付民法第三十四條ノ規定ニ依リ許可ヲ得ムトスルトキハ社團ニ在リテハ定款及社團ノ員數、財團ニ在リテハ寄附行爲ヲ以テ定ムル事項ヲ具シ申請書ヲ內閣總理大臣ニ差出スヘシ

第二條　民法第四十五條、第四十六條又ハ第四十八條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ一週間內ニ登記謄本ヲ添附シ屆書ヲ內閣總理大臣ニ差出スヘシ

第三條　定款變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ變更ヲ要スル理由ヲ具シ總會ノ議事及決議ノ要領書ヲ添附シ申請書ヲ內閣總理大臣ニ差出スヘシ

第四條　法人ハ事業年度終了後三十日內ニ該年度末ノ財產目錄ヲ添附シテ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル報告書ヲ內閣總理大臣ニ差出スヘシ

一　該年度ノ事業ノ狀況

二　該年度ノ收入支出金額及其ノ科目

三　社團法人ニ在リテハ該年度末ニ於ケル社員ノ員數

第五條　法人ノ設立者又ハ法人ヨリ內閣總理大臣ニ差出スヘキ書類ハ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

○鐵道博物館陳列品取扱手續

明治四十五年五月九日達第四六四號

鐵道院鐵道博物館陳列品取扱手續左ノ通定ム

鐵道博物館陳列品取扱手續

第一條　本手續ニ於テ陳列品ト稱スルハ鐵道、電氣、船舶其ノ他ノ水陸運輸交通ニ關スル內外古今ノ物資ニシテ鐵道博物館ニ陳列ノ目的ヲ以テ蒐集シ又ハ交換寄贈若ハ出品申出等ニ依リ鐵道博物館掛ニ收容スルモノヲ謂フ

第二條　鐵道博物館掛長ニ於テ院ノ所有ニ屬スル物品ヲ陳列品ニ編入セントスルトキハ理由ヲ附シテ所管部、

課、局、所長ニ要求スヘシ但シ特殊異例ニ屬スルモノハ豫メ經伺ヲ要ス

部、課、局、所長前項ニ依リ陳列品編入ノ要求ヲ受ケタルトキハ左記樣式ニ依リ其ノ品名、數量、性質竝沿革等ヲ詳記シタル調書ヲ作成シ圖面寫眞等アルモノハ之ヲ添付シテ鐵道博物館掛長ニ送付スヘシ但シ業務ノ都合其ノ他ノ事由ニ因リ陳列品ニ編入スルコト能ハサルトキハ其ノ理由ヲ具シテ調書ヲ提出スヘシ

第三條　院ノ所有ニ屬スル物品ヲ陳列品ト爲サントスルトキハ前條ニ準シ其ノ調書ヲ所管部、課、局、所長ヨリ鐵道博物館掛長ニ送付スヘシ

第四條　院外者ヨリ陳列品ノ交換、寄贈若ハ出品等ノ申出アリタルトキハ前條ニ準シ調書ヲ提出セシムヘシ」

前項ニ依リ提出スル調書ハ申出者ノ希望ニ依リ現品ヲ提出スヘキ驛所及同所迄ノ運搬費ヲ要求スルトキハ其ノ金額ヲ記入セシムルコトヲ要ス

第五條　鐵道博物館掛長ニ於テ前二條ノ調書ヲ受理シタルトキハ審査ノ上其ノ採否ヲ調書提出者ニ通知スヘシ但シ院外者ノ申出ニシテ部、課、局、所經由ニ係ルモノハ當該部、課、局、所ヲ經由シテ通知スルコトヲ要ス

院外者ノ申出ヲ採用シタル場合ニ於テ前條第二項ニ依リ現品ヲ提供スヘキ場所ノ指定ナキカ又ハ其ノ指定ヲ變更スル必要アルトキ竝其ノ提出時期ヲ特ニ指定スル必要アル場合等ハ其等ノ事項ヲ通知書ニ記載スヘシ

第六條　部、課、局、所長ニ於テ前條ニ依リ採用ノ通知ヲ受ケ又ハ鐵道博物館掛長ノ要求其ノ他ノ事由ニ因リ院ノ所有ニ屬スル物品ヲ陳列品トシテ提出スルトキハ總テ拂切拔トシ鐵道博物館掛長ニ送付スヘシ

第七條　本手續ニ依リ輸送スル物資ハ院線内總テ無賃ニテ取扱フヘシ

（經由局所驛收受番號）

明治　年　月　日

鐵道院鐵道博物館掛長殿

鐵道院鐵道博物館陳列品調書

（經由局所驛長）

（品名）	（品種、形狀等）	（產地又ハ製作者）	（容積）	（數量）	（重量）	（價格）明治　年　月　日　金	（最寄驛）
					（見積價格）明治　年　月　日　金	（沿革又ハ說明）	（記事）
							（同上迄ノ運搬費）

（記載例）

（經由局所驛）
（牧受番號）

（經由局所驛長）

第　號

明治四十五年三月二十一日

鐵道管理局長殿

鐵道院鐵道博物館掛長

鐵道院鐵道博物館陳列品調書

（品名）第一一〇號機關車　（數量）一臺

（品種、形狀等）二一四一〇式タンク
（産地又ハ製作者）英國ヨークシヤー　エンジーン　ウオークス
（容積）一六三〇立方呎　（重量）十二噸
（價格）明治五年八月　金九、八九〇圓　（見積價格）明治　年　月　日　金

（沿革又ハ說明）本機關車ハ最初本邦ニ輸入サレタルモノニシテ明治五年鐵道寮ノ聘入ニ係リ同年八月使用ヲ開始シ當初三號ナル番號ヲ附シ專ラ京濱間ノ運轉ニ供シ後運輸ノ繁忙ニ赴クニ伴ヒ其牽引力漸次要求ニ適セサルニ至リ明治二十年ノ頃ヨリ新橋驛構內ノ入替ニ使用シ最近一一〇號ナル番號ヲ附シ下ノ關驛構內ニ於テ同一用途ニ充當セリ今之ヲ最近東海道線旅客列車牽引用パシフヒツク型機關車ニ比スルニ後者ハ重量ニ於テ約二、八倍ニ當リ又牽引力ニ於テ五倍ニ超エタリ而シテ本機ヲ陳列セントスル趣旨ハ鐵道開始當初使用セシ機關車ヲ紀念ノ爲メ保存スルト共ニ當時ノ輸送量ヲ窺フノ一端ニ供スルニアリ

（記事）

（最寄驛）

（同上迄ノ運搬費）

○業務監査規程

明治四十三年五月十七日達第四一五號

業務監査規程左ノ通定ム

鐵道業務監査規程

第一條　業務監査ハ專ラ實地ニ就キ之ヲ行フモノトス

第二條　監査ヲ分チテ特別監査及普通監査ノ二トス

第三條　特別監査ハ監査課員中ヨリ巡閱員及其附屬員ヲ命シ總裁ヨリ其時々特ニ監査スヘキ局所及事項ヲ指示シテ之ヲ行ハシムルモノトス

第四條　普通監査ハ監査課員ヲシテ隨時之ヲ行ハシムルモノトス

第五條　監査事項ハ凡ソ左ノ如シ

一　法規成例ニ違反スルモノナキヤ否

二　所期ノ目的ニ適合セサルモノナキヤ否

三　經濟ノ主旨ニ適合セサルモノナキヤ否

四　整頓ヲ缺クモノナキヤ否

五　意志ノ疏通ヲ缺クモノナキヤ否

六　規律風紀ヲ紊ルモノナキヤ否

七　改善スヘキモノナキヤ否

第六條　監査ヲ了リタル者ハ二週間內ニ復命書ヲ總裁ニ提出スヘシ但事ノ急ヲ要スルモノハ監査中ト雖モ總裁又ハ課長ニ報告スヘシ

第七條　特別監査ヲ受ケタル局所長ハ其監査ヲ受ケタル要領ヲ總裁ニ報告スヘシ

○鐵道院無賃乘車證發行規程

明治四十二年一月十四日逓第一七號

改正　四十二年十二月　四十三年四月　逓第一六號
　　四十三年十月　逓第二八六號
　　四十四年八月　逓第六〇六號
　　四十五年五月　逓第五三五號

第一章　總　則

第一條　無賃乘車證ハ特ニ規程アル場合ヲ除ク外總裁之ヲ發行ス

第二條　無賃乘車證發行ノ場合ニハ別ニ定ムル樣式ニヨル證書面相當位置ニ筆又ハペンヲ以テ左ノ事項ヲ明瞭ニ階書若クハ行書ニテ記入シ發行者ノ捺印及取扱人ノ認印割印ヲ爲スモノトス

一　使用者ノ官職氏名

二　等　級

三　區　間

四　期　間

五　發行年月日

六　發行者ノ官職氏名

第三條　無賃乘車證發行者ハ印鑑ヲ本院調査課長ニ届置クヘシ但シ發行ノ權限カ第八條列記ノ線内ニ限レルトキハ其所管局所長ニ届出ツヘシ

第四條　證書面記載ノ區間ヲ二回以上往復シ得ヘキ效力ヲ有スル無賃乘車證ハ期間滿了ノ後直ニ發行者ニ送附スヘシ但シ所屬長ヲ經由スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ發行者ハ其控ト共ニ本院調査課ニ廻附スルモノトス

前二項ノ規程ハ第四十六條會社線一往復無賃乘車證ニ準用ス

第五條　一往復又ハ片道限リ有效ナル無賃乘車證ハ使用終リタルトキ下車驛ニ交附スヘシ

前項ノ乘車證ハ當該驛長ヨリ毎一個月分ヲ取纏メ翌月十日限リ本院調査課ニ廻附スヘシ

第六條　前條乘車證發行ノ控ハ發行者ヨリ毎一個月分ヲ取纏メ翌月十日限リ本院調査課ニ送附スヘシ

第七條　前二條ノ規程ハ第四條第三項ノ適用ヲ妨ケス

第八條　各管理局及鐵道院出張所所管線ノ區間内ニ於ケル一往復又ハ片道限リ有效ナル無賃乘車車證ハ第五條及第六條ノ規程ニ據ラス所屬局所長ニ送附スヘシ

第九條　無賃乘車證ヲ紛失シタル場合ニハ其事由ヲ具シ紛失乘車證ノ番號、等級、區間、期間及發行年月日ヲ記載シ直ニ發行者ニ届出ツヘシ

發行者ハ鐵道公報ニ無效ノ廣告ヲ爲スモノトス但シ證書ノ有效區間カ一管理局ノ所管區域内ニ限ラルトキハ局報ヲ以テ代ユルコトヲ得

第二章　職務乘車證

第十條　職務乘車證ハ第二十二條第二十三條及第二十四條ノ二ノ場合ヲ除ク外本院職員ニシテ職務上必要ノ者ニ之ヲ交付ス

第十一條　職務乘車證ノ等級左ノ如シ

一等　高等官五等以上

二等　高等官六等以下及判任官五級俸以上竝ニ給料月額五拾圓以上ノ雇員

三等　判任官六級俸以下竝給料月額五拾圓未滿ノ雇員以下

第十二條　職務乘車證ヲ一往復及定期ノ二種トス

第十三條　一往復職務乘車證ハ片道又ハ一往復ニ限リ乘車シ得ルモノトス但シ其期間ハ一回三十日間ヲ限度トス

第十四條　總裁官房各課長、各部長、本院各課長、鐵道試驗所長、各管理局長、各鐵道院出張所長、各建設事務所長及市街線建築事務所長ハ所屬員ニ對シ二等以下ノ一往復職務乘車證ヲ發行スルコトヲ得但シ右發行ヲ待ツ能ハサル要急ノ場合ニハ責任アル掛員ノ證明ニ依リ驛長之ヲ發行スルコトヲ得

第十五條　各管理局内運輸事務所長、保線事務所長、出納事務所長及各管理局出張所長ハ所管區域内ニ限リ各工場長ハ其所屬管理局内主管事務關係地ニ至ル區間ニ於テ二等以下ノ一往復職務乘車證ヲ所屬員ニ發行スルコトヲ得但右發行ヲ待ツ能ハサル場合ニハ前條ノ但書ヲ準用ス

第十六條　定期職務乘車證ハ期間内回數ニ拘ハラス乘車シ得ルモノトス但シ期間ハ毎年十二月一日ヨリ翌年十一月三十日ニ至ル一箇年ヲ限度トス

第十七條　定期職務乘車證書面ノ身分等級ノ訂正及所管區域内ニ於ケル區間ノ變更ヲ要スル場合ニハ各管理局長、各鐵道院出張所長及各建設事務所長ハ便宜之ヲ訂正シ其旨直ニ報告スヘシ

第十八條　線路工夫、建築工夫、電氣工夫及其他ノ傭人ニシテ職務上必要ノ場合ニハ木札ノ定期職務乘車證ヲ發行ス

第三條及第四條第二項ノ規程ハ此乘車證ニ適用セス

第十九條　前條ノ乘車證ハ各管理局長、各鐵道院出張所長、各建設事務所長及市街線建築事務所長之ヲ發行スルコトヲ得

第二十條　木札乘車證發行者ハ使用人ニ對シ左ノ事項ヲ恪守セシムヘシ

一　職務以外ニ使用セサルコト

二　他人ニ讓與又ハ貸與セサルコト

三　係員檢查ノ場合ニハ直ニ出示スルコト

四　使用終リタルトキハ直ニ發行者ニ返還スルコト

五　紛失ノ場合ニハ直ニ發行者ニ届出ツルコト

第二十一條　雇員以上ノ者ノ定期職務乘車證ハ所屬長ノ具申ヲ待テ發行ス其區間ハ高等官ハ官線一般判任官以下ハ職務ノ種類ニ因リ官線一般又ハ限定區間トス

第二十二條　各管理局長ハ聯帶運輸上必要ノ場合ニハ私設鐵道株式會社員ニ對シ聯帶運輸區内ニ限リ二等以下ノ一往復職務乘車證ヲ發行スルコトヲ得

第十一條ノ規程ハ本條ノ場合ニ準用ス

第二十三條　赴任又ハ轉勤ヲ命セラレタル職員ニシテ勤務地ヘ家族若クハ從來使役セル僕婢ヲ伴フ場合ニハ所屬長ハ新任地ニ至ル區間一回ヲ限リ拜命ノ時ヨリ一個月内ニ於テ右ニ對シ本人ト同等級ノ一往復職務乘車證ヲ發行スルコトヲ得但シ僕婢ハ三等トス

病氣又ハ事故ニヨリ前項ノ期間内ニ乘車シ能ハサル場合ニハ右一個月内ニ所屬長ヨリ其事情ヲ具シ特ニ認

可ヲ受クヘシ

本條ノ場合ニ所屬長ハ一等ノ乘車證ヲ發行スルコトヲ妨ケス

第二十四條　前條ノ場合ニ荷物ノ運送ヲ要スルトキハ右ト同一區間ヲ限リ無賃ニテ運送スルコトヲ得

第二十四條ノ二　職員廢官、退官ト爲リ又ハ休職、退職ヲ命セラレタル場合ニ歸鄉ノ爲メ旅行スルトキハ所屬長ハ本人竝其同伴家族ニ對シ一往復乘車證ヲ發行スルコトヲ得但刑事裁判又ハ懲戒處分ニ據リ失官シ又ハ免官、免職セラレタル場合ハ此限ニアラス

職員在官、在職中死亡シ又ハ公務執行上負傷シタル場合其他ノ親族ニ對シテモ亦前項ニ同シ

前二項ノ場合ニ於ケル乘車證ノ等級其他ニ關シテハ第二十三條ノ規程ヲ準用ス

第三章　待遇乘車證

第二十五條　貨主及運送業者ニ對シテハ以下九條ノ規程ニヨリ待遇乘車證ヲ發行ス

第二十六條　出荷奬勵ノ主旨ニ基キ左記ニ該當ノ貨物託送者ニ對シ無賃乘車證ヲ贈與スルコトアルヘシ

一驛一個月間發送荷物ニ對スル官線(汽船共)賃金(運賃及發著手數料以下同之)一千圓以上ニ達スルモノ

第二十七條　前條乘車證ノ使用期間ハ三個月間トシ左ノ標準ニ據リ乘車區間ヲ定メ一葉ヲ限リ發行贈與スルモノトス而シテ右區間ハ託送荷物運送上關係深キ處タルヲ要シ貨主ノ希望ヲモ參酌ノ上之ヲ定ムルモノトス

一個月一千圓以上　二百哩以内

以上五百圓ヲ增ス每五十哩ヲ加ヘ官線一般(關門間以外ノ汽船航路ヲ除ク)ニ達スルヲ以テ限度トス

第二十八條　待遇乘車證ハ記名トシ等級ハ二等トス會社又ハ商店等ニ在テハ社長店主又ハ之ニ相當スル社員、店員ニ贈與シ希望ニヨリテハ之ニ代フル他ノ社員又ハ店員ニ贈與スルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ三等トス

第二十九條　待遇乘車證ヲ紛失シタルトキハ該乘車證通用期間内再ヒ之ヲ贈與セサルモノトス

第三十條　待遇乘車證所持者ニシテ鐵道規則及乘車證ニ關スル規程ニ違犯シタルトキハ事情ノ如何ヲ問ハス之ヲ回收シ爾後再ヒ贈與セサルモノトス

第三十一條　社員又ハ店員等ノ乘車證使用上ニ於ケル行爲ニ關シテハ社長又ハ店主等ニ於テ一切其責ニ任スルモノトス

第三十二條　第二十六條及第二十七條ノ賃金ハ一個月間ヲ隔テタル最近三個月間ノ一個月平均ニ據ルモノトシ之ニ依リ次ノ三個月間ニ對シ贈與ノ要否及區間等ヲ査定スルモノトス

第三十三條　驛長（西部鐵道管理局船舶課釜山派出所主任又ハ荷扱所主任）ハ其驛（所）ニ於ケル待遇乘車證贈與ノ資格アル貨物託送者ヲ選出シ乘車證區間其他ノ要項ヲ具シタル申立書（其發送貨物賃金月別明細表ヲ添附ノコト）ヲ主管管理局長又ハ鐵道院出張所長ニ提出スヘシ管理局長又ハ鐵道院出張所長ハ審査ノ上之カ發行ニ付キ總裁ニ具申スルモノトス

第三十四條　貨主及運送業者ヲ除ク外鐵道事業ニ殊功アリタル者其他本院ニ於テ優待スヘキ院外者ニ對シ贈與スル待遇乘車證ハ一往復及定期ノ二種トス

第三十四條ノ二　雇員以上ノ職員ノ家族ニ對シテハ高等官判任官又ハ雇員タルトヲ問ハス一個年一回三人ヲ限リ本人職務乘車證ト同等級ノ一往復待遇乘車證ヲ發行ス

第三十五條　一往復待遇乘車證ニ付テハ第十三條ノ規程ヲ準用ス

第三十六條　定期待遇乘車證ニ付テハ第十六條ノ規程ヲ準用ス但シ期間ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル一個年ヲ限度トス

第三十七條　待遇乘車證ハ一會社又ハ一團體所屬員ノ何人ニ就テモ效力アル形式ニ於テ發行スルコトアルヘシ

第四章　通學乘車證

第三十八條　判任官以下ノ職員ニシテ執務時間外自宅ヨリ一時間以內ニ學校ニ到達シ得ヘキ列車ニ乘リ通學スル者ハ其區間ニ對シ通學乘車證ヲ所屬長ニ請求スルコトヲ得所屬長ハ事情精査ノ上右乘車證交附ノ具申ヲ爲スヘシ但シ左ノ場合ニハ通學乘車證ヲ交附セス

一　勤務所ト同一市內ニ在ル學校ニ通學スル場合

二　所屬長ノ許可ヲ得テ在勤地外ニ居住スル場合

第三十九條　職員ニシテ勤務所ヨリ十八丁以內ニ其子弟ヲ教育スヘキ尋常及高等小學校ノ設ケナキ場合又ハ三十六丁以內ニ中學校、高等女學校若クハ之ト同一程度ノ學校ナキ場合ニハ在勤地ノ停車場ヨリ鐵道ノ便アル最モ近キ學校ノ最近停車場ニ至ル區間ニ於テ子弟ノ通學乘車證ヲ所屬長ニ請求スルコトヲ得所屬長ハ事情精査ノ上右乘車證交附ノ具申ヲナスヘシ但シ子弟トハ職員カ民法上扶養ノ義務ヲ負フ者ヲ云フ

第四十條　左ノ子弟ニハ通學乘車證ヲ交附セス

一　所屬長ノ許可ヲ得テ在勤地外ニ居住スル職員ノ子弟

二　勤務所ト同一市內ノ中學校、高等女學校又ハ之ト同一程度ノ學校ニ通學スル職員ノ子弟

第四十一條　通學乘車證ノ等級ハ總テ三等トシ期間ハ六個月以內トス

第五章　通勤乘車證

第四十二條　通勤乘車證ハ判任官以下ノ職員ニシテ所屬長ノ許可ヲ得テ勤務所所在地市町村外ニ居住シ執務時間開始前自宅ヨリ一時間以內ニ勤務所ニ到達シ得ヘキ列車ニ乘リ通勤スル場合ニ發行ス

第四十三條　前條規定ノ在勤地外居住願及通勤乘車證ノ請求ヲ爲ス者アルトキハ所屬長ハ事情精査ノ上居住ヲ許可シ通勤乘車證交附ノ具申ヲ爲スヘシ

第四十四條　通勤乘車證ノ等級左ノ如シ

二等　俸給月額五十五圓以上ノ判任官及雇員

三等　俸給月額五十五圓未滿ノ判任官及雇員

第四十五條　傭人ニハ通勤乘車證ヲ交附セス但シ所在地ノ狀況ニ依リ所要ノ人員ヲ充タス能ハサル場合ハ此ノ限リニアラス

第六章　私設鐵道會社線無賃乘車證

第四十六條　私設鐵道會社線乘車證ハ本院職員ニシテ職務上必要ノ場合ニ之ヲ交附ス之ヲ分テ一往復及定期ノ二種トス

第四十七條　第十一條、第十三條、第十六條、第十七條、及第二十一條ノ規程ハ前條ノ乘車證ニ準用ス

附　則

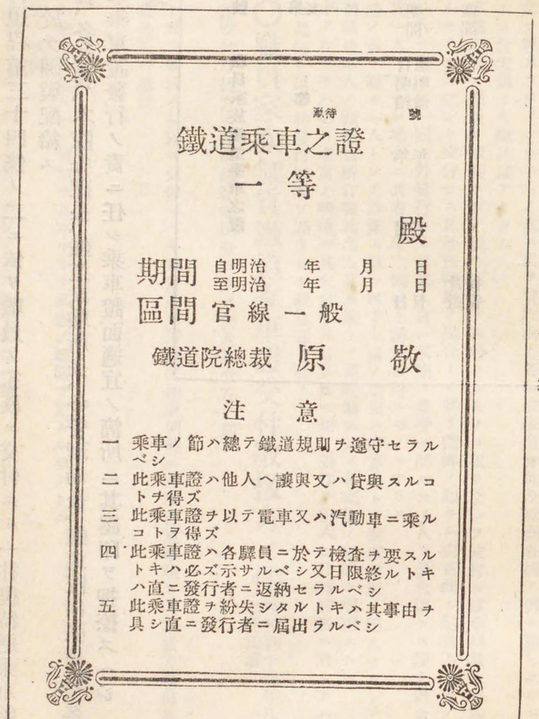
第四十八條　從來ノ達內達ニシテ此規程ト重複又ハ牴觸スルモノハ之ヲ廢止ス

○外國人待遇乘車證樣式　明治四十五年五月二十日達第五〇三號

外國人待遇乘車證樣式左ノ通定ム

三寸七分（曲尺）

二寸五分（曲尺）



輪廓ハ金色輪廓內地模樣ハ薄藍色ノ波紋　裏面英文ハ省略ス

○職員家族無賃乘車證樣式及取扱方ノ件

明治四十四年八月十九日
達第六〇七號

無賃乘車證發行規程第三十四條ノ二ニ依リ職員ノ家族ニ交付スル一往復待遇乘車證用紙ハ左記樣式ニ據リ總裁官房文書課ニ於テ調製配給ス

總裁官房各課長、各部長、本院各課長、鐵道試驗所長、各管理局長、鐵道院出張所長、各建設事務所長及市街線建築事務所長ハ本乘車證發行ノ責ニ任シ乘車證面適宜ノ箇所ニ其認印ヲ押捺スヘシ

樣式

（尺曲）分三寸三

號　職員家族鐵道乘車之證

第　亥
　　等
　　丙
　　待

期間　自明治　年　月　日
　　至明治　年　月　日　片道
　　　　　　　　　　往復

區間

明治　年　月　日

鐵道院總裁　男爵後藤新平

二寸七分（曲尺）

一、區間ト發行年月日トノ間ニ巾三分ノ「オリーヴ」色縱線一條ヲ挿入ス

一、裏面注意事項ハ他ノ一往復待遇乘車證ニ同シ

○職員家族無賃乘車證ニ關スル件

明治四十四年八月十九日
公報注意

一　本日ノ公報ヲ以テ職員ノ家族ニ對シ無賃乘車證交付ノ件達セラレタリコレ一定ノ制限ノ下ニ職員ノ家族ニ慰安ヲ與フル傍ラ一家ヲ擧ケテ鐵道ノ益メニ盡スノ念ヲ厚カラシメントスルノ念ニ出テ買收前ノ各私設鐵道會社及歐洲各國ノ例ニ習ヒタルモノナリ各所屬長ニ於テ如上ノ趣意ヲ徹底セシムルコトニ付遺漏ナキ樣注意アリタシ

二　右ノ趣意ニ基キ本乘車證ハ職員ノ家族ニシテ現ニ本人ト同居スルモノニ限リ之レヲ交付シ縱令戶籍上家族ノ一員ニシテ且最近親ノモノト雖モ本人ト同居セサルモノニハ之レヲ交付セス且赴任轉勤ノ場合トモ異リ僕婢ノ如キハ尙更此ニ包含スルモノニアラス

三　本乘車證ハ職員一人ニ對シ年一回ノ外發行セス且其人員ハ家族ノ多少ヲ問ハス三人ヲ最大限トス隨テ例令ハ三人ノ家族カ二回又ハ三回ニ分レテ請求シ又ハ家族一人ノミナル場合ニ其者カ年二回以上請求シ得ルモノニアラス

四　子女ハ十二才未滿ノ者ト雖モ一人トシテ計算ス但シ四才未滿ノ幼兒ハ計算外トシ乘車證面ニ記入セスシテ同伴シ得ルモノトス

五　本乘車證ニハ必ス職員本人ノ勤務場所官職氏名及其家族トノ親族關係竝ニ其家族ノ年齡ヲ明記スヘシ

六　本乘車證ヲ發行シタルトキハ必ス適當ノ帳簿ニ其交付年月日其他一切ノ要件ヲ記入シ且轉勤者ニ對シテハ前所屬長ヨリ本乘車證交付ノ最近年月日ヲ新所屬長ニ通知シ以テ其發行制限ヲ過ラサル樣注意ヲ要ス

○職員家族無賃鐵道乘車證交付取扱方ノ件

明治四十四年八月三十一日
公報注意

職員家族鐵道乘車證交付取扱方ニ付中部管理局長ヨリノ伺及指令左ノ如シ

伺

今般達第六〇六號ヲ以テ職員ノ家族ニ交付スヘキ無賃乘車證制定相成同時ニ公報注意事項ニ其取扱方揭載有之候處尙種々ノ質疑相生シ候ニ付左記解釋ニ依リ取扱致シ可然哉

左記

一、家族ノ意義

民法上ノ家族トハ別ナル意ニシテ職員ヲ基本トシテ家族ノ範圍ヲ定ムルモノトス

二、同居ノ事實認定ノ範圍

職員ノ住居ニ繼續的ニ同居シ居ル家族ヲ意味シ一時的ノ滯留ヲ除ク

三、法律上職員ノ親族ニシテ戶籍上同一ノ家ニアラサル者カ職員ト同居スルトキハ此者ニ發行差支ナキヤ

戶籍上ハ家族タラサルモ職員ノ親族ナルトキハ交付ス

四、職員ノ直系尊族及直系卑屬ニシテ獨立ノ生計ヲ有セサル者カ事實上同居スルニアラサルモ性質上同居ノ延長ト看做スコトヲ得ル場合ハ此者ニ發行差支ナキヤ

子弟教育ノ爲メ一定ノ學校ニ在ル場合家族病氣ノ爲メ轉地旅行中ニ在ル場合ニ限リ交付ス

五、一家内ノ者數人職員タル場合ニ各一人ニ付一回宛ヲ交付スルトキハ同一家族カ重複交付ヲ受クルコトアルモ差支ナキヤ

各一人ニ付一回ナルモ同一家族ニ對シテハ重複交付セス

六、職員ノ家族カ一年内ニ既ニ交付ヲ受ケタリ然ルニ同年度内ニ他ノ職員ノ家族ト爲リタル場合（例ヘハ婚姻養子緣組）ニ重複交付スルモ差支ナキヤ

身分上ノ變更アル場合ニハ再交付妨ケナシ

七、乘車證ノ交付ヲ受ケタル家族カ旅行中病氣又ハ天災事變ニ因リ期日經過シタリ此場合ニ再交付ヲ許スヤ

事實ヲ證明セシメタル上再交付ス

八、旅行カ兩年度ニ跨ル場合ニハ發行日附ニ依ルヤ旅行完了ノ日ニ依ルヤ

發行日附ニ依ルモノトス

九、區間ハ官線一般ヲ請求シ得ルヤ

區間ヲ明記スヘシ

十、本乘車證紛失シタル場合ニ再交付ヲ受ケ得ルヤ

再交付セス

以　上

右指令

一、二、四、八、九、十ノ六項ハ伺ノ通

三、親族關係ヨリ同居スル者ト雖モ同一戸籍面ニアラサル者ニハ交付セス

五、一家族中二人以上職員タル場合ト雖モ家族乘車證ハ一家三人ヲ限リトス

六、身分上ノ變更アル場合ト雖モ再交付セス

七、伺ノ通前乘車證ト引換ノ上再交付差支ナシ但シ弊害ニ陷ラサル樣嚴重ノ取締ヲ要ス

○往復待遇乘車證職員家族乘車證及癈兵乘車證用紙ニ打出文字表出ノ件

明治四十四年九月二十日達第七〇〇號

一往復待遇乘車證、職員家族乘車證及癈兵乘車證用紙ノ中央ニ打出器械ヲ以テ「鐵道院」ノ三字ヲ横列ニ表出シ來十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○無賃乘車證記載方ノ件

明治四十四年四月四日公報注意

無賃乘車證發行規程第二條ニ列記セル事項ハ墨汁ヲ以テ之ヲ記入シ「インキ」ヲ使用スヘカラス

○通學無賃乘車證樣式ニ關スル件

明治四十四年三月二十五日達第二〇八號

本年四月一日以降通學無賃乘車證樣式左ノ通改正ス

一、形體及模樣　職務定期乘車證ニ同シ

一、著色　模樣及輪廓淡牡丹色（地ハ白）

一、番號　横列記入

一、裏面注意事項追加

一、此證書ヲ以テ電車又ハ汽動車ニ乘ルコトヲ得ス

○無賃乘車證所持者ノ特別急行列車乘車竝寢臺使用ニ關スル件

明治四十五年六月三日公報注意

「特別急行列車」ノ押印ナキ無賃乘車證（職務ト待遇トヲ問ハス）所持者ニシテ特別急行列車券ヲ購求セシムヘシ該列車其他ノ寢臺ヲ使用セントスルトキハ別ニ規定ノ料金ヲ徵收シテ特臺券ヲ購求セシムルモノトス

○電車及汽動車職務乘車證樣式

明治四十三年八月八日達第六八二號

電車及汽動車職務乘車證左記樣式ノ通リ制定ス

明治四十二年十二月達第一〇一四號ハ之ヲ廢止ス

一　往復乘車證樣式

表面

號　電車／汽動車　乘車證　第　號

期限　自　明治　年　月　日
　　至　明治　年　月　日

區間　片道／往復

明治　年　月　日
發行者所　屬　長　印

裏面

一　此乘車證書ハ他人ニ譲與貸與スルコトヲ禁ス
一　此乘車證書ハ片道若クハ一往復ノ用ニ限ル
一　各驛員之レヲ檢査セントスル時ハ必ス出示スヘシ又使用終リタル時ハ下車驛ヘ返付スヘシ

一　定期乘車證樣式

表面

號　電車／汽動車　乘車之證　第　號

期間　自　明治　年　月　日
　　至　明治　年　月　日

區間

明治　年　月　日

鐵道院總裁男爵後藤新平　印

裏面

一　乘車ノ節ハ總テノ鐵道規則ヲ遵守スヘシ
一　此乘車證書ハ他人ヘ譲與貸與スルコトヲ得ス
一　此乘車證書ハ各驛員ニ於テ檢査ヲ求ムルトキハ必ス示スヘシ又日限終リタルトキハ直ニ發行者ヘ返納スヘシ
一　此乘車證書ヲ紛失シタルトキハ其番號ヲ記入シ直ニ發行者ニ届出ツヘシ

注意

一　此乘車證書ハ他人ニ譲與貸與スルコトヲ禁ス
一　此乘車證書ハ片道若クハ一往復ノ用ニ限ル
一　各驛員之レヲ檢査セントスル時ハ必ス出示スヘシ又使用終リタル時ハ下車驛ヘ返付スヘシ

一　地模樣ハ他ノ定期乘車證ト同樣トス
一　著色ハ藍色トス

○吳服橋烏森間電車公用乘車證樣式　明治四十三年九月二十六日達第八一八號

吳服橋烏森間電車木札公用乘車證左ノ通制定ス

三寸

表面　二寸

號

○吳服橋／烏森間電車乘車證

部、課、局、所用

裏面

○

鐵道院（烙印）

本乘車證ノ取扱方ハ一般職務定期乘車證ニ準シ官房文書課ニテ交付ス

○請負人竝其使用人ニ無賃乘車證交附方ノ件　明治三十二年九月三十日達第六四號

請負人竝ニ其使役ニ係ル諸職工人夫若クハ手代ニ無賃乘車證ヲ交付スルコトニ關シテハ未タ何等ノ規定モ無之取扱方區々ニ相成不都合ト認メ候ニ付爾今左記標準ニ依リ實行可相成此段内達候也

一　請負人竝其使役ニ係ル諸職工人夫若クハ手代ニハ一切無賃乘車證ヲ交附スヘカラス但無賃乘車證ヲ交附スルコトヲ契約ノ條項ト爲シタルトキハ此限ニアラス

一　請負人竝其使役ニ係ル諸職工人夫若クハ手代ニ對シ汽車旅行ヲ命スル必要ヲ認メタルトキハ無賃乘車證ヲ交附スルコトヲ得

○鐵道公報發行規程

明治四十二年四月五日　逓第二四三號　改正　四十二年六月　達第五一八號

一　鐵道公報發行規程左ノ通相定ム

二　總裁達ハ之ニ掲載スルヲ公式ト定ム但シ必要アルトキハ公文ヲ以テ之ニ代フルコトアル可シ

三　明治四十年九月二十五日達第二一八號ハ之ヲ廢止ス

鐵道公報發行規程

第一條　鐵道公報ハ日曜日祭日及公ノ休日ヲ除ク外毎日之ヲ發行ス

第二條　公報ニハ左ノ事項ヲ掲載ス

一　法律、勅令、閣令、省令、訓令、告示、公達（鐵道ニ關スルモノニシテ執務上周知スルコトヲ要スルモノ）

二　達（總裁達、會計檢査院達等）

三　訓示（大臣、總裁ノ發スルモノ）

四　辭令（雇員以上ニ關スルモノ但シ管理局長ノ發シタル辭令ハ高等官ニ關スルモノヲ除ク外之ヲ掲載セス）

五　賞與、懲戒（雇員以上ニ關スルモノ但シ管理局長ノ發シタル辭令ハ高等官ニ關スルモノヲ除ク外之ヲ掲載セス）

六　指令（指令又ハ回答ニシテ執務ノ參考トナルヘキ事項）

七　注意事項（通牒其他執務上一般ノ了知スヘキ事項）

八　彙報（毎日發生スル事件中主トナルモノ）

九　救濟組合彙報（救濟組合ニ關スル主要ナル事項）

第三條　達ニ添付スヘキ用紙又ハ圖表類ニシテ活字印刷ニ付スルコト能ハス又ハ困難ナルモノハ主務部ニ於テ調製シ關係ノ向キヘ直接配付スヘシ

第四條　公報ニ掲載スヘキ事項ニシテ公文ヲ以テ發送シタルトキハ最近ノ公報ニ其旨ヲ掲載ス

第五條　第二條第一號乃至第三條ニ列記セルモノハ官房文書課ニ於テ原稿ヲ調製スヘシ

第六條　各部課局所ニ報告委員ヲ置キ其部課局所ノ公報原稿調製ニ關スル事務ヲ處理セシムヘシ

各部課局所長ハ豫メ報告委員ノ氏名ヲ官房文書課長ニ通知スヘシ

第七條　報告委員ハ第五條ニ掲クルモノヲ除ク外其部課局所處理ニ係ル事項ニシテ公報ニ掲載スヘキモノノ原稿ヲ調製シ官房文書課ニ送付スヘシ

第八條　辭令ノ原稿ハ發令者所屬ノ各報告委員ニ於テ調製シ官房文書課ニ送付スヘシ

第九條　賞與、懲戒ニ關スル原稿ハ可成其記事ヲ嚴正且ツ簡約ニスヘシ

第十條　原稿ハ一定ノ用紙ヲ用ヒ別ニ定ムル樣式ニ依リ調製スヘシ

第十一條　官房文書課長ハ緩急ヲ量リ原稿掲載ヲ翌日以後ニ繰延ヘ又ハ第二條第五號以下ノ原稿ヲ取捨スヘシ

午後二時（七月十一日ヨリ九月十日迄ハ午前十一時）以後ニ到達シタル原稿ハ翌日發行ノ公報ニ掲載セス

原稿調製樣式

法律、勅令等ハ掲載ノ樣式ニ依ル

總裁達ハ左ノ例ニ依ル

例

達番　號　月　日（但シ其日付カ公報發行ノ日付ニ相當スルトキハ之ヲ省略ス）

院一般（又ハ何々局長等）

本文、、、、、、、、、

辭令及賞與、懲戒ノ原稿ハ左ノ例ニ依ル

新規任用者ノ辭令ニハ總テ俸給支辨費途（作業、建設、改良等）記入ヲ要ス

雇員ニハ事務、技術ノ區別記入ヲ要ス

例

任鐵道院書記　給一級俸計理部勤務ヲ命ス（作業費）

何　某

任鐵道院技手　給二級俸　建設部勤務ヲ命ス（建設費）　何　某
倉庫課勤務ヲ命ス　計　書記　何　某
技術課勤務ヲ命ス　建　技手　何　某
　何　某

雇（事務）ヲ命ス　月給貳拾圓ヲ給ス　總務部（庶務課）勤務ヲ命ス（作業費）

昇給、休職、免官、免雇、賞與、懲戒、退官賜金、死亡賜金等ノ場合ニハ左記略號ニ準シ所屬ノ場所ヲ記入スルヲ要ス尚休職、免官、免雇、退官賜金、死亡賜金ノ場合ハ俸給額ヲ記入スルヲ要ス

一　各部課及調査所員ハ官文、總庶、建事、運庶、運工、運作、計會等
二　管理局員ハ北管、九管等
三　鐵道院出張所員ハ米出、鹿出等
四　市街線建築事務所員ハ市築等
五　建設事務所員ハ福建、富建等
六　驛員ハ出張所表明記號、驛名及職名ノ一字ヲ組立テ表ハス米子出張所鳥取驛助役ヲ米出鳥助トスルカ如シ
七　荷扱所、機關庫、信號所、發電所所員等ハ出張所表明文字ノ下ニ其地名頭字（紛ラハシキトキハ其中又ハ下ノ字ニシテ場所ヲ明ニスルニ足ル一字）ノ次ニ荷、庫、信、電等ノ字ヲ加フ鹿兒島出張所所管鹿兒島機關庫機關手ヲ鹿出鹿庫機トスル等
前六、七項ノ定ハ管理局員ニハ之ヲ適用セス

例

給一級俸　總庶　書記　何　某
給二級俸　運工　技手　何　某

金貳圓

年月日何驛ニ於テ（在勤驛ノ場合ハ驛名記入ヲ要セス）列車ノ衝突ヲ防キタル廉ニ依リ賞與　米出鳥信　雇　何　某

年月日何驛ニ於テ達區域通票誤受ノ廉ニ依リ一個月間日給十分ノ一減給　鹿出鹿庫機　雇　何　某

轉勤ノ辭令ニハ舊在勤場所、俸給及轉勤前後ノ支辨費記入スヘシ
但シ費途變更セサルトキハ前費途ノミヲ記入スヘシ

例

東部鐵道管理局（上野運輸事務所）勤務ヲ命ス　中管　主事　何　某（作）
鹿兒島出張所勤務ヲ命ス（建設）　米出　雇月二〇　何　某（作）
　鹿出　雇日五〇　何　某（作）

米子出張所（鳥取驛改札掛）勤務ヲ命ス

死亡、兵役召集、改氏名、海外派遣、留學者ノ出發歸朝、單ニ支辨費途ヲ變更シタルトキ、他官廳ヘ轉任等ノ場合ニハ場所給額ヲ具シ彙報欄ニ揭載スヘキニ付高等官以下總テ本人所屬ノ部課局所報告委員ニ於テ原稿ヲ調製シ官房文書課ニ送付スヘシ

例

總庶書記何級何某ハ本年何月何日死亡セリ
運工書記何級何某ハ何々ト改氏（名）セリ
岡建技手何級何某ハ何月何日何々部隊ニ召集セラレタリ
運書記何級何某ハ改良費支辨ノ處何月何日ヨリ作業費支辨ニ變更セリ

○文書保存編綴規程 明治四十三年十月二十六日達第九〇〇號

本院文書保存編綴規程左ノ通定ム

本達ハ明治四十三年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

左記ノ達ハ本達施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

明治三十二年十一月鐵運乙第二四五三號

明治三十四年十月建達第一五二一號

明治三十八年六月鐵作工達第一一號

文書保存編綴規程

第一章　保存期間

第一節　通　則

第一條　文書ノ保存期間ハ別ニ定ムルモノノ外本規程ニ從フ

第二條　本規程中ノ數個ノ條文ニ該當スル書類ノ保存期間ハ其長期ノモノニヨル

第三條　保存期間ノ滿了シタル書類ト雖モ現ニ使用シ又ハ使用ノ必要迫レルモノハ之ヲ保存スヘシ

第四條　本規程ニ保存期間ノ規定ナキ文書ニシテ保存スル必要ナシト認ムルモノハ經伺ノ上之ヲ廢棄スヘシ

第五條　本規程ニヨリ廢棄スヘキ文書ト雖モ特ニ保存ノ必要アリト認ムルモノハ經伺ノ上之ヲ保存スヘシ

第二節　決裁及通達書類

第六條　大臣又ハ總裁ノ最終決裁書及其決裁ノ基本タル書類ハ之ヲ廢棄セス決裁ヲ經ルニツキ取調ノ爲メ往復シタル書類及參照書類等ニシテ輕易ノモノハ決裁ヲ經タル日ヨリ三個年ノ後之ヲ廢棄ス

前項ノ規定ハ部課局所場長ノ最終決裁書竝ニ其關係書類ニ之ヲ準用ス但シ輕易ノ事項ニ屬スルモノハ經伺ノ上之ヲ廢棄スルコトヲ得

第七條　書類ノ印刷發行ニ關シ決裁ヲ求メタル文書ハ當該書類發行ノ日ヨリ六個月ノ後其原稿ヲ廢棄シ印刷

物ヲ保存ス

第八條　大臣及總裁ノ印章ヲ押捺シタル命令書通達書指令書等ハ之ヲ廢棄セス但シ第二十條ノ適用ヲ妨ケス

前項ノ規定ハ局所場長ノ命令書通達書指令書等ニ之ヲ準用ス但シ輕易ノ事項ニ屬スルモノハ管理局長ノ定ムル處ニヨリ之ヲ廢棄スルコトヲ得

第三節　證據文書

第九條　辨濟、受領書、債權讓渡ノ通知書、權利拋棄ノ通知書及是等ノ書類ニ附屬セル委任狀等當院ノ義務ノ消滅又ハ不存在ヲ證スヘキ書類ハ其權利ノ消滅時效ヲ援用シ得ヘキ日ヨリ一個年ノ後之ヲ廢棄ス

第十條　賣買契約書工事請負契約書等ニシテ當院債權ノ存在ヲ證スヘキ書類ハ其權利ノ消滅シタル日ヨリ一個年ノ後之ヲ廢棄ス

第十一條　不動產上ノ權利ノ取得ヲ證明スヘキ書類ハ其權利ニツキ二十年ノ取得時效ヲ援用シ得ヘキ日ヨリ一個年ノ後之ヲ廢棄ス但權利存續ノ間短クシテ時效ヲ援用スル能ハサル場合ハ權利取得ノトキヨリ二十年ノ後之ヲ廢棄ス

第十二條　前三條ノ規定ハ權利義務ノ存否ヲ證スル爲メ作成セラレタル他ノ書類ニ之ヲ準用ス

第四節　報告書

第十三條　會報ノ速記錄ハ之ヲ廢棄セス

第十四條　月又ハ之ヨリ短キ期間ヲ定メテ提出スル工事、營業又ハ會計等ニ關スル報告書類ハ所屬年度ノ末日ヨリ二個年ノ後之ヲ廢棄ス但シ輕易ノモノハ到達シタル日ヨリ六個月ノ後之ヲ廢棄スルコトヲ得

第十五條　事項ノ發生シタル度毎ニ提出スル報告書類ニシテ樣式ヲ定メラレタルモノハ到達ノ日ヨリ三個年ノ後之ヲ廢棄ス

第十六條　統計表ヲ作成スル爲メ徵スル報告書類及補助書類ハ其統計表カ竣成シタル日ヨリ一個年ノ後之ヲ廢棄ス

第十七條　各種ノ臺帳ニ記入スル爲メ徵スル報告書類ハ記入ヲ終リタル日ヨリ一個年ノ後之ヲ廢棄ス但シ會計事務ニ關スル書類ニ就テハ此期間ハ所屬年度ノ末日ヨリ二個年トス

第五節　帳表類

第十八條　各種ノ臺帳原簿等ハ之ヲ廢棄セス但シ保存ノ必要ナキモノハ經伺ノ上之ヲ廢棄スルコトヲ得

第十九條　會計ニ關スル補助簿ハ其所屬年度ノ末日ヨリ五個年ノ後之ヲ廢棄ス

第二十條　會計ニ關スル各種ノ請求書要求書傳票通知書送付書等ハ其所屬年度ノ末日ヨリ五個年ノ後之ヲ廢棄ス

前項ノ規定ハ給與ノ調査ニ關スル書類ニ之ヲ準用ス

第六節　官報公報等

第二十一條　官報ハ各事務所ニ三個年間每號一部ヲ限リ保存ス但シ官房文書課及管理局庶務課ハ十年間每號二部ヲ保存ス其他ハ適宜之ヲ廢棄ス

第二十二條　法令全書ハ購讀スル各事務所ニ十年間每號一部ヲ限リ保存ス但シ官房文書課及管理局庶務課ハ二十年間每號二部ヲ保存ス其他ハ適宜之ヲ廢棄ス

第二十三條　鐵道公報ハ官房文書課編纂ニ係ル鐵道法規類抄ノ發行セラレタル後、揭載法規ノ現在日附以前ニ發行シタルモノヲ廢棄ス但シ官房文書課及管理局庶務課ニ於テハ二十年間每號二部ヲ保存スヘシ

前項ノ規定ハ局報ニ之ヲ準用ス

第二十四條　官房文書課及管理局庶務課ニ於テ發行スル法規類抄ハ次回ノ法規類抄カ發行セラレタルトキヨリ二個年ノ後之ヲ廢棄ス但官房文書課及管理局庶務課ニ於テハ各其編纂法規二部ヲ保存スヘシ

第二十五條　新聞雜誌等ハ其接受ノ日ヨリ三個月ノ後之ヲ廢棄ス但シ重要ナル統計書類ニ就テハ此期間ハ五個年トス

前項ニ揭クルモノヲ除ク外院外ヨリ寄贈ヲ受ケタル各種ノ書類ハ其供覽ヲ經タル日ヨリ二個年ノ後之ヲ廢棄ス

第七節　雜書類

第二十六條　左ノ書類ハ最後ニ記入シタル日ヨリ二個年ノ後之ヲ廢棄ス

一、出勤簿其他各職員ノ勤務日割等ヲ明ニスル爲メ作成シタル帳表類

二、受證簿其他各文書ノ受授ノ經路ヲ明ニスル爲メ作成シタル帳表類

三、列車又ハ船舶ノ發著屆其他各列車又ハ船舶ノ運轉及運航等ノ狀況ヲ明ニスル爲メ作成シタル帳表類

四、貨車用覆布發著簿其他各機關車客貨車又ハ附屬品ノ修繕又ハ使用等ノ經路ヲ明ニスル爲メ作成シタル帳表類

五、貨物中繼簿其他各貨物ノ運送ノ經路ヲ明ニスル爲メ作成シタル帳表類

第二十七條　廳中取締ニ關スル書類ハ其事項ノ結了シタル時ヨリ一個年ノ後之ヲ廢棄ス

第二十八條　單純ナル社交上ノ往復書類印刷物ノ配付寄贈ニ關スル書類其他之ニ類スル書類ハ事項ノ完了シタルトキヨリ六個月ノ後之ヲ廢棄ス

鐵道公報及管理局報ノ原稿其他之ニ類スル書類ハ其公報局報等ノ發行セラレタル日ヨリ二個月ノ後之ヲ廢棄ス

第二十九條　旅行願、請暇願、缺勤屆、轉居屆等ハ其受理ノ日ヨリ六個月ノ後之ヲ廢棄ス

第二章　編　綴

第三十條　機密ニ關スル書類ノ外一個年以上保存スヘキ文書ニシテ差當リ使用セサルモノハ官房文書課長之ヲ編綴保存スヘシ

前項ノ書類ハ當該事項ノ完了シタル日ヨリ六個月ノ後之ヲ保管者ニ引渡スヘシ

會計事務ニ關スル書類ニ就テハ前二項ノ期間ハ所屬年度ノ末日ヨリ之ヲ起算ス

第三十一條　保管者前條ノ規定ニヨリ書類ノ送附ヲ受ケタルトキハ假ニ之ヲ編綴シテ一括書類中廢棄スヘキ部分ノ保存期間ノ末日カ到來スル迄保存シ其後廢棄スヘキモノハ廢棄シ其他ハ之ヲ編綴シテ保存スヘシ

第三十二條　保存スヘキ文書ハ左ノ十四門ニ種別ス文書保管者ハ便宜ニ應シ更ニ其細種別ヲ爲スコトヲ得

第一門　建設ニ關スル書類
第二門　工務ニ關スル書類
第三門　工作ニ關スル書類
第四門　電氣ニ關スル書類
第五門　運轉ニ關スル書類
第六門　營業ニ關スル書類
第七門　船舶ニ關スル書類
第八門　倉庫ニ關スル書類
第九門　會計ニ關スル書類
第十門　私設鐵道及軌道ニ關スル書類
第十一門　國際鐵道ニ關スル書類
第十二門　訴訟及賠償ニ關スル書類
第十三門　保健ニ關スル書類
第十四門　前諸門ニ屬セサル書類

第三十三條　文書保管者ハ前條種別ニ從ヒ編年索引及事項目索引ヲ作製シ且其必要多キ部分ヲ摘記シ關係個所ニ配付スヘシ

第三十四條　一書類ニシテ諸種ノ事項ニ關係アルモノハ各門ノ索引ニ記載スルコトヲ要ス
第三十五條　前三條ノ規定ハ之ヲ假綴文書ニ準用ス
第三十六條　保管者ノ保管スル文書ノ閲覽ニ關スル規則ハ經伺ノ上保管者之ヲ定ムヘシ

附　則

從前ノ文書ニシテ第三十條ニヨリ保管者ニ引渡スヘキモノハ其文書保管者ノ定ムル所ニヨリ順次其引渡ヲ爲スヘシ

○文書閲覽規則

明治四十三年十月二十七日
總裁決裁

第一條　文書課ニ於テ保管スル文書ヲ借覽セントスルモノハ別紙樣式ノ借覽用紙ニ夫々記入ノ上保管者ニ申込ムヘシ

第二條　借覽者ハ用濟次第遲滯ナク返付スヘシ

第三條　借覽中轉貸ヲ禁ス

第四條　借覽中汚損紛失セサル樣注意スヘシ若シ紛失シタルトキハ其旨直ニ保管者ニ申出ツヘシ

第五條　借覽者ハ其文書ニ自己ノ便益ニ資センカ爲メ諸種ノ符號ヲ付スルカ如キコトアルヘカラス

文書借覽證

借用年月日	所屬名竝官氏名印	記事
年　月　日		

用濟ノ上ハ直ニ返付ヲ要ス

○鐵道院圖書室規則

明治四十三年十月十四日
達第八七四號

本院圖書室規則左ノ通定ム

鐵道院圖書室規則

第一條　圖書室ハ文書課長之ヲ主管シ主トシテ鐵道ニ關スル圖書ヲ蒐集シ職員一般ノ閱覽ニ供ス

第二條　圖書ノ購入保管及貸付ニ關スル事務ヲ處理スル爲メ圖書掛員ヲ置ク

第三條　職員ハ執務時間內所屬長ノ許可ヲ得テ備付ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得但シ必要ニ應シ閱覽ノ日時人員又ハ書籍ノ種類等ヲ制限スルコトアルヘシ

第四條　圖書ヲ閱覽セントスル者ハ圖書掛員ノ許諾ヲ得テ閱覽者名簿ニ指定ノ事項ヲ記入シタル上圖書室ニ於テ閱讀シ閱覽了レハ之ヲ其原位ニ返付シ置クヘシ

第五條　圖書ヲ借用シ室外ニ携出スルコトヲ要スルトキハ所定ノ借用證ニ所屬部課局所長ト連署捺印ノ上借リ受クヘシ

第六條　借用者ハ特ニ文書課長ノ承認ヲ得タル場合ノ外其借用セル圖書ヲ院外ニ携出シ又ハ他人ニ轉貸スヘカラス

第七條　圖書ノ貸付ハ一時ニ三冊ヲ限リトシ其ノ期限ハ十五日以內トス但特別ノ必要アリテ文書課長ノ承認ヲ得タルトキハ此限ニアラス

第八條　圖書借用者轉任退職若クハ一個月以上旅行スルトキハ其ノ借用セル圖書ヲ返納スヘシ

第九條　圖書整理其ノ他必要アルトキハ何時ニテモ貸付シタル圖書ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第十條　圖書ヲ汚損亡失シタル者ハ其ノ情狀ニ依リ同樣ノ書籍若クハ相當代價ヲ償納セシムヘシ

第十一條　部課局所長ニ於テ圖書室ニ備付ヲ希望スル圖書アルトキハ文書課長ニ請求スヘシ但法規、字典類其他日常執務上缺クヘカラサルモノニ限リ特ニ經伺ノ上其部課局所ニ備付クルコトヲ得

○廳中取締規程

明治四十一年三月七日
達第九七號

廳中取締規程左ノ通相定メ三月十日ヨリ之ヲ施行ス

廳中取締規程

第一章　總　則

第一條　帝國鐵道廳所屬官衙工場ハ本規程ニ基キ廳中ヲ取締ルコトヲ要ス但シ停車場ハ此限ニアラス

官衙又ハ工場等隣接シ其境界ニ柵垣墻壁其他圍障ヲ設ケサルモノハ其內一個所ニ於テ取纏メ凡テノ取締ヲ爲サシムルコトアルヘシ此場合ニ於ケル取締事務ノ所屬ハ別ニ指定ス

第二條　廳中取締上必要アルトキハ守衞ヲ置クコトヲ得但シ工場取締ヲ置キタルトキハ此限リニアラス

守衞ノ新設、員數及其增減ハ別ニ之ヲ定ム

第三條　非常事變ニ際シ特ニ持退ヲ要スル書類器具等重要物ハ搬出ニ便ナル設備ヲ施シ且其標章ヲ附シ置クヲ要ス

第四條　本規程中守衞ニ關スル事項ハ工場取締ニ之ヲ準用ス

第二章　守　衞

第五條　守衞ハ雇員トナスコトヲ得

第六條　守衞十名以上ヲ置キタルトキハ外ニ守衞長一名ヲ置クコトヲ得此場合ニ守衞長ハ判任官ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第七條　守衞長ハ廳中ノ保安ニ注意シ守衞中一名ヲ守衞副長トナスコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ守衞長ノ事務ヲ補助セシムル爲メ守衞中ヨリ守衞副長ヲ指示監督スヘシ

守衞長ニハ宿直ヲ兼ネシムルコトヲ得

第八條　守衞長及守衞ハ滿四十五歲以下ノ者ヨリ採用ス

第九條　守衞長及守衞ハ執務中ニ限リ制服ヲ着用セシム

第三章　防災組

第十條　水火災其他非常事變ニ具フル爲メ防災組ヲ設置ス

第十一條　防災組ハ第一條ニ拘ハラス近接セル官衙工場停車場等ヲ併合シテ一組ヲ置クコトヲ得第一條第二

項末段ノ規程ハ此場合ニ準用ス

第十二條　守衞ハ當然防災組ニ編入ス

小使職工其他ノ者ハ特ニ命シテ防災組ニ編入スルコトアルヘシ

第十三條　防災組長ハ守衞長ヲ以テ之ニ充ツ但シ事務ノ都合ニヨリ承認ヲ經テ別ニ選任シタル場合ハ此限リニアラス

第十四條　防災組員ニハ消防ニ付左記部署ヲ定メ其擔任作業ヲ習練セシムルヲ要ス

一　器械方

消防栓ポンプノ使用ニ關スルコト

二　倉庫方

倉庫ノ閉鎖ニ關スルコト

三　搬出方

重要ナル書類器具等ノ持退ニ關スルコト

四　看視方

門ノ出入及搬出セシ物品ノ看視ニ關スルコト

第十五條　水震災盜難其他ノ事變ニ對シテモ豫メ之カ設備ヲ爲スヲ要ス

第十六條　防災組員ハ時々非常召集シ實務ノ演習ヲナサシムヘシ

第十七條　本章ノ規程ヲ適用スヘキ官衞工場ハ特ニ指定ス

附　則

第十八條　本規程ノ施行細則ハ總務部長又ハ各官衞工場ノ上官之ヲ定ムヘシ

第十九條　三十二年一月達第三號守衞服務概則及細則（三十二年二月工務部長決議）ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○鐵道院本院防災組規程

明治四十四年四月一日達第二三六號

鐵道院本院防災組規程左ノ通定ム

鐵道院本院防災組規程

第一條　廳中取締規程第三章ニ據リ本院、市街線建築事務所、中央教習所附屬寄宿舍、常盤病院及呉服橋停車場ヲ併合シテ本院防災組ヲ設置ス

第二條　防災組長ハ總裁官房文書課長ヲ以テ之ニ充テ組員ハ組長之ヲ指名ス

第三條　防災組ハ第一條列記ノ構内又ハ其附近ニ事變アルトキハ直ニ指定ノ場所ニ參集シ組長ノ命ヲ承ケ各自其任務ニ從事スヘシ

第四條　防災組ヲ左ノ三掛ニ分ツ

一、防備掛

消火栓、水管、喞筒、消火器其他ノ器具ノ使用竝倉庫ノ開閉ヲ掌ル

一、搬出掛

重要書類竝器具等ノ持退及其ノ看視ヲ掌ル

一、看視掛

廳舍其他防備區域ノ出入取締等ヲ掌ル

第五條　各掛ニ掛長ヲ置キ組長之ヲ指名ス

第六條　掛長ハ組長ノ指揮ヲ承ケ非常ニ際シテハ其組員ヲ指揮シテ擔當任務ニ服シ平素ニ在テハ任務上必要ナル器具機械竝材料等ノ準備整理ノ責ニ任ス

第七條　防災組員防災ニ從事スルトキハ左ノ區分ニ依リ幅三寸ノ布片ヲ左腕ニ緊纏スヘシ

一、防備掛　赤色

一、搬出掛　綠色

一、看視掛　白色

防備掛長、搬出掛長ハ其中央ニ幅一寸ノ白線、看視掛長ハ同赤線各一條ヲ附ス

第八條　防災組ハ二箇月ニ一回以上必ス演習ヲ爲スヘシ

○各省關係事項協議方ノ件　明治三十二年七月二十四日　閣議決定

各省主管ノ事項ニ付法律命令若クハ訓令等ヲ發シ又ハ施設ヲ爲サントスルニ方リ他省主管ノ事務ニ關係アル事項ニ付テハ法律勅令等ハ閣議提出前其他命令處分等ハ發布若クハ決定前其他ノ施設等ハ實行前豫メ其關係アル省ニ協議スルヲ要ス其地方團體ノ事務若クハ負擔ニ關係アル事項ニ付テハ內務省ニ協議スルヲ要ス

○公文ニ添附ノ別紙及圖表ハ主務者調製ノ件　明治二十九年六月五日　鐵第一四六七號局長達

本省及本局ヨリ發送スル公文ニ添付スヘキ別紙及圖表ハ自今各主務者ニ於テ調製セシメ其成案ニ添ヘ御提出相成度此段及御達候也

○回議書添附ノ別紙ハ二通ヲ要スル件　明治三十二年七月二十五日　鐵作乙第二一九七號主記課長通牒

御提出ニ相成ル回議書中淨書發送スヘキモノニシテ別紙ノ添附ヲ要スルモノハ自今二通（一通ハ發送ノ分一通ハ控ノ分）相添ヘ御提出相成候樣致度此段申進候也

○回議書關係各部合議方ノ件　明治三十二年十一月十日　鐵作主乙第九八號主記課長通牒

從來各部ヨリ提出スル回議ニシテ大臣ノ裁可ヲ要スル場合ニ於テ其一部ノ合議了ル毎ニ提出部ニ返戻シ更ニ又合議未濟ノ部ニ送付スル手續ヲ行ヒ來リ候處右ハ手數ヲ要スルハ勿論時間ヲ空費スルコト少ナカラス就テハ自今回議取扱ノ敏捷ヲ期センカ爲メ合議ヲ受ケタル部ハ一々該回議ヲ提出部ニ返戻スル手續ヲ省キ順次關係部ニ送リ最終合議ヲ受ケタル部ヨリ直チニ長官ヘ提出ノ順序ニ可被致候依命此段及御通牒候也

○發送文書ニ添附スヘキ書類區別方ノ件　明治四十年十月十一日　帝鐵總乙第一三四九號總務部庶務課通牒

御提出ニ係ル回議書中當課ニ於テ發スル文書ニ添付スヘキ書類ノ區分ニシテ往々明確ヲ缺クモノ有之候爲メ自然處理ノ迅速ヲ缺クノミナラス延ヒテ發受ノ間ニ錯誤ヲ生スルノ虞有之候條可成右區分ヲ明確ナラシメラレ候樣致度申進候也

○緊急ヲ要スル持廻リ書類ハ終了後正規ノ手續履行スヘキ件　明治三十七年二月十二日　鐵作主乙第三五號主記課長通牒

近來緊急ヲ要スルタメ持廻書類往々有之候處手續省略ノ爲或ハ脫漏不明ニ歸スル虞有之候ニ付終了後必正規ノ手續ヲ履マレ候樣致度依命此段及通達候也

○長官ノ決判回議書改變方ノ件　明治三十九年七月七日　鐵作主乙第二二九號主記課長通牒

長官ノ決判ヲ經タル諸回議書中改變ヲ爲サントスルトキハ更ニ長官ノ認可ヲ受クヘキハ勿論ノ義ニ候處往々其手續ヲ遺漏スルコト有之樣被存候ニ付自今斯ル誤無之樣御注意相成度依命此段及通牒候也

○成案文書ノ附箋ニ關スル件　明治三十一年六月二日　鐵作乙第三、五五二號主記課長通牒

長官ヘ提出セラルル回議中部長ノ檢印アルニ拘ハラス部員ノ附箋アリテ反對ノ意味ヲ表示セラルルモノ往々有之決裁上ノ參考トナルヨリハ寧ロ一種ノ惑ヲ惹起スコト少ナカラス依テ今後ハ右等附箋ハ部長ニ於テ之ヲ除キ去ラレタシ尤モ參考トシテ長官ヘ供サレタキモノハ特ニ其旨ヲ附記スルカ又ハ口頭ニテ陳述ノ勞ヲ取ラルル儀ト御承知有之度此段依命及御通牒候也

○回議書類中紙數一二枚ノモノヘ厚紙添綴方ノ件　明治三十五年九月二十三日　文第二三九號遞信省官房文書課長通牒

回議書類中單ニ一枚ノモノ及ヒ之ニ類スル用紙半切二枚位ノモノハ取扱中散逸ノ虞有之候間自今可成厚紙一枚ヲ添綴相成候樣致度此段申進候也

追テ本文ノ旨趣無洩各主任ヘ御通知相成度候也

○鐵道法規類抄印刷ニ關スル件　明治四十三年八月十三日　公報注意

鐵道法規類抄印刷ノ義ニ付左記ノ通依命通牒アリタリ

（左記）

明治四十二年八月十一日

各部長、官房各課長宛

官房文書課長

依命通牒

今般鐵道法規類抄ハ總テ文書課ニテ印刷スヘキニヨリ貴部（課）ニ於テ印刷スルコトハ見合ハセラレ度

明治四十三年四月二十一日

各管理局長宛

官房文書課長

依命通牒

鐵道法規類抄ハ文書課ニ於テ印刷スヘキニ依リ貴管理局ニ於テハ爾後鐵道公報ヘ掲載セラルル法規ノ印刷ハ見合ハセラレ度

○用紙使用方制限ノ件　明治三十一年七月六日　鐵作乙第四一六三號長官達　改正　三十七年五月　達第九七號

從來美濃罫紙又ハ半紙罫紙混用致來候處自今左記ノ件ヲ除キ半紙十二行罫ヲ使用可致且半面ヲ以テ辨シ得ルモノハ必ス半罫紙ヲ用ユヘシ（中略）

一　豫算竝ニ統計ニ關スル明細書類

一　成規上用紙ニ定メアルモノ又ハ特ニ長官ノ許可ヲ受ケタルモノ

○同上ノ件　明治三十八年三月三十一日　達第五五號

局内ニ於ケル書類ノ照復等ハ實務上差障ナキ限リ可成反古製狀袋ヲ使用スヘシ尚ホ二重狀袋西ノ内狀袋等高價ノ分モ同樣可成鼠色紙製又ハ西洋紙製等低價ノモノヲ以テ代用スル樣注意スヘシ

○茶、煎麥ノ官費供給廢止ノ件　明治三十六年八月三十一日　達第九一號

官費ヲ以テ茶煎麥ヲ供給スル義ハ爾今之ヲ廢止スヘシ

○煙草盆ニ切炭廢止ノ件　明治三十八年五月三十日　達第一〇四號

自今煙草盆ニハ切炭ヲ廢シ燐寸ヲ使用スヘシ

○局員市内出張ノ際人力車及電車乘用方ノ件　明治三十七年三月十八日　達第三四號

局員市内出張ノ際人力車乘用自然區々ニ渉ルノ嫌有之且追々電車ノ便モ相開ケ候ニ付自今各部課ニ於テハ左ノ方針ニテ乘車可有之此段及内訓候也

一、市内凡ソ十町以外ノ場所ニ出張セシムルトキハ其用務ノ緩急ヲ見計ヒ人力車ニ乘車セシムルコトヲ得

但電車ノ便アル場所ハ可成該車ヲ利用スヘシ

一、公用物携帶又ハ特急ノ用務ヲ帶ヒ若クハ雨雪等ノ場合ハ十町以内ト雖モ人力車又ハ電車ニ乘車セシムルコトヲ得

一、乘車券請求又ハ發行等ノ事務ハ各部課ニ於テ主管掛ヲ定メ之ヲ擔任セシムヘシ但乘車券購買ハ計理部ニ於テ取扱フヘシ

一、主管掛ハ一定ノ簿冊ヲ設ケ乘車券ヲ交付スルトキ其行先用務及官姓名ヲ記入調印セシムヘシ

○雜誌購讀廢止ノ件　明治四十年十二月十二日　帝鐵總乙第一、九四一號伺定

地方機關ニ於テ爲參考從來雜誌ヲ定期購讀致居候向モ有之候得共右ハ必要無之儀ト被認候ニ付既ニ代金支拂濟ノ分ヲ除ク外ハ購讀セサル樣決定相成可然哉

○新聞購讀數制限ノ件　明治四十年十一月八日　帝鐵總乙第一七二〇號總務部庶務課長依命通牒

新聞紙購讀ノ義ハ各所區々ニ付一定スルノ必要ヲ認メラレ候處既ニ代金支拂濟ノ分ヲ除ク外ハ來ル十二月一

日以後必要ニ應シ二種ニ限リ購讀致シ得ヘキモノト承知相成度
追テ無賃乘車券ヲ給與シアル各新聞ハ無代價寄贈ノ筈ニ有之候（終）

大正元年八月二十五日印刷
大正元年八月二十八日發行

鐵道院總裁官房文書課編纂

總則奥附
定價金四十二錢

發行者　大谷仁兵衞
東京市京橋區南鍋町一丁目十番地

印刷者　井田耕治
東京市京橋區南鍋町一丁目十番地

333M39